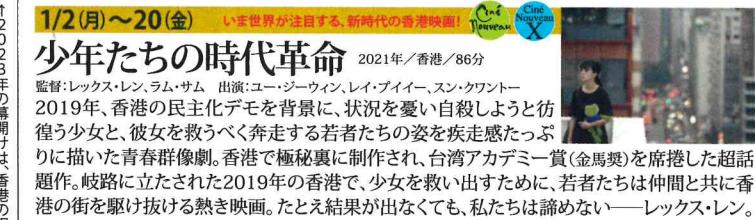


SCHEDULE

シネヌーヴォ シネ・ヌーヴォX

2023年
1月
January



1/2(月)～20(金) いま世界が注目する、新時代の香港映画!

少年たちの時代革命 2021年／香港／86分

監督：レックス・レン、ラム・サム 出演：ユー・ジーウィン、レイ・ブライア、スン・クワント

2019年、香港の民主化デモを背景に、状況を憂い自殺しようと彷徨う少女と、彼女を救うべく奔走する若者たちの姿を疾走感たっぷりに描いた青春群像劇。香港で極秘裏に制作され、台湾アカデミー賞（金馬獎）を席捲した超話題作。岐路に立たされた2019年の香港で、少女を救い出すために、若者たちは仲間と共に香港の街を駆け抜ける熱き映画。たとえ結果が出なくても、私たちは諦めない——レックス・レン。

1/2(月)～20(金) いま世界が注目する、新時代の香港映画!

理大団城 2020年／香港／88分 監督：香港キュメンタリー映画工作者

「山形国際ドキュメンタリー映画祭2021」

ロバート&フランシス・フラハティ賞（最高賞）

あまりに凄い、凄すぎる映画だ！ 2019年11月、香港では一国二制度が急速に揺らぎ、逃亡犯条例改正反対運動と香港当局との衝突が激化を極めた。香港屈指の繁華街にある香港理工大学が重装備の警官隊に封鎖され、要塞化した緊迫の13日間。武器を持ち戦い続けるか、命がけで脱出するか——戦場と化した大学構内で、究極の選択を迫られていく…。監督全員匿名、出演者の表情はモザイク処理、香港では上映禁止！香港映画の歴史に名を刻む、屈指のドキュメンタリー映画が世界初劇場公開!!

1/14(土)～

あの娘は知らない 2022年／日本／76分 監督・脚本：井権形

出演：福地桃子、岡山天音、野崎智子

『溶ける』（2016年）で日本人最年少でカンヌ国際映画祭の出品を果たした俊英・井権形監督が監督・脚本を手がけ、海辺の町を舞台にそれぞれ喪失感を抱える男女の出会いと再生を描いたドラマ。危険も美しい青春と希望。

1/2(月)～13(金) ※途中休憩あり

私のはなし部落のはなし 2022年／日本／205分

監督：満若勇哉

長らくタブーだった根強く残る「部落差別」に挑んだ屈指のドキュメンタリー。部落差別の起源・変遷から現状までを描くとともに、登場する人たちの熱き思いが、積み重なった差別の歴史と複雑に絡み合った背景をひも解く傑作。

1/21(土)～

ippo イッポ 2022年／日本／76分 監督・脚本・編集：柄本佑

演出：加瀬亮、宇野祥平、渕川清彦、柄本時生、高良健吾、加藤一浩

劇作家・演出家の加藤一浩による3本の演劇戯曲を原作に、俳優の柄本佑が「映画」の息吹を与えた3つの短編連作集。加瀬亮と宇野祥平出演「ムーンライト下落合」のほか「約束」「フランスにいる」の3作から構成された話題作。

予告 大映創立80周年 大映4K映画祭

1942年に創立し1971年に倒産するまでの30年間に、日本映画史上に残る幾多の名作を創り続けてきた大映。名だたる名優・名監督の傑作の数々48本!!

1/7(土)～13(金)

ワタシタチハニンゲンダ！ 2022年／日本／114分

監督・撮影：高賀祐

難民、入管の問題など、外国人差別の実態に迫った屈指のドキュメンタリー。

1/14(土)～27(金)

私の知らないあなたについて 2022年／131分 監督：樋内博志 出演：佐々木ありさ

コロナ禍の現在を生きる若者たちの姿を全3章で描いた青春群像劇。

1/14(土)～20(金)

編集室 deleted 2022年／65分

監督：千葉誠治

映画界の闇と光に切り込んだホラー・スリラー。

1/28(土)～2/10(金)

クリエイションストーリーズ 2021年／イギリス／110分

監督：ニック・モラン

90年代イギリス。クリエイション・レコードの創設者アラン・マッギーの人生!!

2/4(土)～17(金)

わたしのお母さん 2022年／106分

監督：杉田真一 出演：井上真央

誰よりも近いのに、誰よりも遠い—わからえない娘と母の葛藤を鮮烈に描く。

●毎日1日は映画サービスデー…1200円均一

●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

●水曜サービスデー…どなたも1200円均一

2月～奇想天外映画祭2023『夢半ば』監督：安楽涼『餓鬼が笑う』監督：平波亘

3月～追悼大森一樹監督 2022年11月12日、あまりに突然に亡くなった大森一樹監督を悼み追悼特集を開催

その後～名画リクエスト特集第三弾 三回忌・名プロデューサー原正人特集

12/25(日)～1/13(金)

みんなのヴァカンス+ギヨーム・ブラック監督特集

『みんなのヴァカンス』 2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスに行った女性を追って南フランスの田舎町へ向かった男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスを使った男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスを使った男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスを使った男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスを使った男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスを使った男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスを使った男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスを使った男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！

■ギヨーム・ブラック監督特集

『女っ気なし』 2011年／フランス／58分+『遭難者』 2009年／フランス／25分

『やさしい人』 2013年／フランス／100分+『七月の物語』 2017年／フランス／71分+『勇者たちの休息』 2016年／フランス／38分

2020年／フランス／100分

監督：ギヨーム・ブラック

南フランスを舞台に夏を満喫する若者たちの姿を描いた爽やかな青春コメディ。ヴァカンスを使った男性3人組。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。寒い冬、必見！



Cine Nouveau
X

追悼 大森一樹【スケジュール】

3/11(土)	10:00 風の歌を聴け	12:00 オレンジロード急行	14:25 女優時代
12(日)	9:50 女優時代	11:40 風の歌を聴け	14:15 テイク・イット・イージー
13(月)	10:30 テイク・イット・イージー	12:40 オレンジロード急行	14:25 女優時代
14(火)	10:20 女優時代	12:10 風の歌を聴け	14:10 テイク・イット・イージー
15(水)	10:30 オレンジロード急行	12:20 女優時代	14:15 風の歌を聴け
16(木)	10:30 テイク・イット・イージー	12:35 風の歌を聴け	14:35 オレンジロード急行
17(金)	10:30 ユーガッタ・チャンス	12:30 オレンジロード急行	14:20 風の歌を聴け
18(土)	—	16:30 ユーガッタ・チャンス	18:35 すかんびんウォーク
19(日)	—	16:30 ヒポクラテスたち	19:00 恋する女たち
20(月)	14:00 ユーガッタ・チャンス	16:00 すかんびんウォーク	18:05 テイク・イット・イージー
21(火)	14:00 すかんびんウォーク	16:10 ユーガッタ・チャンス	18:10 恋する女たち
22(水)	13:50 恋する女たち	15:50 すかんびんウォーク	17:55 ヒポクラテスたち
23(木)	13:40 ユーガッタ・チャンス	15:40 恋する女たち	17:40 すかんびんウォーク
24(金)	13:35 ヒポクラテスたち	16:00 すかんびんウォーク	18:05 恋する女たち
25(土)	14:25 犯されたラブハイド	17:10 ヒポクラテスたち	19:40 トットチャンネル
26(日)	13:50 ゴジラvsビオランテ	15:55 ゴジラvsキングギドラ	—
27(月)	13:50 トットチャンネル	15:50 ヒポクラテスたち	18:15 ゴジラvsキングギドラ
28(火)	14:25 ゴジラvsビオランテ	16:30 ゴジラvsキングギドラ	18:35 トットチャンネル
29(水)	14:40 ゴジラvsキングギドラ	16:45 ゴジラvsビオランテ	18:50 「さよなら」の女たち
30(木)	14:15 トットチャンネル	16:10 ゴジラvsキングギドラ	18:15 ゴジラvsビオランテ
31(金)	14:15 「さよなら」の女たち	16:10 ゴジラvsビオランテ	18:15 トットチャンネル
4/1(土)	10:20 「さよなら」の女たち	12:10 失恋	14:15 悲しき天使
2(日)	10:00 T.R.Y.	12:05 悲しき天使	14:15 ベトナムの風に吹かれて
3(月)	10:30 大失恋	12:35 「さよなら」の女たち	14:25 T.R.Y.
4(火)	10:00 ベトナムの風に吹かれて	12:15 T.R.Y.	14:25 大失恋
5(水)	10:20 「さよなら」の女たち	12:10 大失恋	14:15 ベトナムの風に吹かれて
6(木)	10:00 T.R.Y.	12:05 ベトナムの風に吹かれて	14:20 大失恋
7(金)	10:00 悲しき天使	12:10 T.R.Y.	14:15 ベトナムの風に吹かれて

トークショー開催!!

○3/11(土)12:00 対談・緒方明さん(映画監督)×高橋聰さん(映画評論家)

○3/12(日)11:40 トーク・緒方明さん(映画監督)

○3/25(土)14:25 対談・原田徹さん(映画監督)×春岡勇二さん(映画評論家)

3/11(土)～4/7(金)

さらば、永遠の映画少年

追悼 大森一樹



1994年12月震災直前の神戸でロケした「大失恋」。

◆70年代、長髪にサングラス、自主製作した16ミリフィルム『暗くなるまで待てない!』を持って現れた大森一樹は、あまりにカッコ良かった。続けて映画脚本の登竜門と言われる城戸賞を受賞するや、なんと学生でありながら、また撮影所での助監督の経験もなく受賞作『オレンジロード急行』で商業映画監督デビュー。大森一樹は、あの時代、映画ファンたちの憧れの存在であり、映画を創る青年たちの輝く目標となつた。続く『ヒポクラテスたち』でその思いは決定的になる。その後も、数々の話題作、名作を作り続けた大森監督は日本を代表する監督のひとりになつていった。◆1995年1月17日、阪神・淡路大震災を芦屋の自宅マンションで罹災。映画ファンとして多彩な映画を手がけてきた彼に、震災からの復興は大きなテーマとなる。その4年後、震災復興施設として宝塚にオープンした「シネ・ピピア」の誕生を祝って、僕たちに映画をプレゼントしていただいた。1999年10月16日、営業が終わったヌーヴォを舞台に、わずか一晩で撮影、1週間で音入れ・編集し、16ミリフィルム『明るくなるまでこの恋を』が完成。無事10月29日、シネ・ピピアで柿落とし上映とあつた。超人的なスピード、熱意で完成した奇跡の映画だ。我々への祝福と同時に、大森監督の『暗くなるまで待てない!』の「夏子」たちの23年ぶりの後日談という見事さだった。◆また、成功した監督たちが次々と活躍の場を東京に移すなか、最後まで関西に拘って芦屋を離れなかつた。最後は大学での人材育成に尽力されたが、遺作が2015年の『ベトナムの風に吹かれて』で終わつたのはあまりに残念だ。まだまだ新作を見たかった。そして、大森監督から直接「このシーン最高やで!」「今度の映画は傑作だよ」とう言つてほしかつた。◆シネ・ヌーヴォ、シネ・ピピア共同で、生涯の30本数から劇場映画19本、それに大阪芸大で作られた1本をあわせ、全20本を一挙上映します。映画を愛して、映画に生き、映画に死んだ大森一樹監督。その全貌をご覧あれ!! ◆今年1月8日から日曜日、神戸新聞に「わが心の自叙伝 大森一樹」が連載されている。これは、今年の連載に向けて、大森監督が生前の昨年に書かれたものである。亡くなつてからも、まるでそこに大森監督が佇み、しかも笑つてゐるかのような情愛に満ちた名文である。この後も、毎週日曜日、大森監督に再会できるような楽しみを、最後にまた笑つてプレゼントしていただいたと思っている。

2023/2/25	26	27	28	3/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
シネ・ヌーヴォ																																			
大映創立80周年 大映4K映画祭	10:00～ 3作品上映			大映創立80周年 大映4K映画祭	朝～ 2作品上映			さらば、永遠の映画少年 追悼 大森一樹	特	大怪獣 大特撮 大全集	10:00～ 2作品上映		大映創立80周年 大映4K映画祭	10:00～ 2作品上映																					
茶飲友達	13:50 (～16:05)	A		特集 フランス映画の女性パイオニアたち	16時台～ 3作品上映			大映創立80周年 大映4K映画祭	16:20～ 2作品上映	さらば、永遠の映画少年 追悼 大森一樹	昼～ 2～3作品上映		大映創立80周年 大映4K映画祭	10:00～ 2～3作品上映																					
奇想天外映画祭4	18時台～ 2作品上映	A		アニエス・ヴァルダ監督特集	※招待券・回数券使用不可			アニエス・ヴァルダ監督特集	13/19～ 25は休映 ★ただし、3/23(木)19:45、3/26(日)19:00のみ「大いなる沈黙」国内最終上映	土を食らう十二カ月	B		アニエス・ヴァルダ監督特集	13、14時台～ 3作品上映																					
シネ・ヌーヴォ	10:30 (～12:05)	C		猫たちのアパートメント	13:35 (～15:05)	B		やまとぎ	10:40 (～12:20)	茶飲友達	12:40 (～14:55)		土を食らう十二カ月	B																					
魅せられて	12:25 (～14:25)	C		夜明けまでバス停で	15:30 (～17:05)	B		やまとぎ	15:15 (～17:30)	茶飲友達	17:50 (～19:20)		土を食らう十二カ月	B																					
シネ・ヌーヴォ	15:00 (～16:45)	B		夜明けまでバス停で	15:30 (～17:05)	B		アシス・ヴァルダ監督特集	17:50 (～19:20)	茶飲友達	19:40 (～21:15)		アシス・ヴァルダ監督特集	※読み込みない場合は 劇場ホームページまで																					
シネ・ヌーヴォ	17:10 (～19:25)	B																																	

●毎日1200円
●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

※上記表中 ▲は初日、■は最終日の表示マーク

※ご鑑賞の1週間前から窓口とインターネットで、座席指定のチケットをお求めいただけます。招待券などは窓口からのみになります。

上野昂志の醉余の一滴 (続) vol.2

エンタテインメント映画
の王道を切り拓く
大森一樹

大森一樹監督には、永遠の映画少年という呼称がついて回る。確かに、彼には、大人になつても、そう称されるような、純な心が息づいていたのだろう。だが、それだけで、映画産業が衰退した1980年代に、メジャーの正月映画を担うような仕事が出来るわけがない。むしろ、驚くべきは、映画少年ならではの遊び心で作った『暗くなるまで待てない!』から、一挙に、松竹という看板を背負つて『オレンジロード急行』を撮つたことではないか。そんな例は、大森一樹以前にも以後にもない。

ただ、残念ながら、わたしは、この映画についてほとんど憶えていないのだ(苦笑)。わたしが、この新人監督に瞠目したのは、次の『ヒポクラテスたち』である。自身の医学生としてのありようを、群像劇として描きながら、そこに鈴木清順扮するドロボー小父さんを配するような遊び心も含めて、明らかに一人の若々しい作家の登場を告げる映画であった。ただ、ここには微妙な問題もある。大森が、この線で進むとしたら、相米慎二のような作家性の強い監督になつたと思われるからだ。

だが、大森一樹は、その方向には進まず、すでに失われるつつあった、エンタテインメント映画の王道を切り拓いていったのだ。高校生で世界ジュニア水球選手権の日本代表になった吉川晃司に相応しく、彼に東京湾をバタフライで泳ぎ来させた『すかんびんウォーク』しかし、齊藤由貴を中心とした三人娘をスクリーンに輝かせた

『恋する女たち』しかし、この映画のラスト、和服で盛装した三人娘の野点を空撮で閉じた大森の技に唸つた。しかも、齊藤由貴主演の三作は、いずれも東宝のお正月映画だったんだからね。

『ゴジラ』の生みの親である東宝の田中友幸プロデューサーが、大森を、平成ゴジラ・シリーズの一番手に起用し、脚本も彼に任せたのも頷ける。そのような娯楽映画の王道を往つた大森だが、最後の作品『ベトナムの風に吹かれて』は、松坂慶子演じる日本語教師と現地の俳優による群像劇に、戦中のベトナム残留日本兵の記憶なども盛り込み、自身の作家性とエンタテインメント性を融合させた快作ゆえ、お見逃しなきよう!

(批評家・映画評論家)

3/11(土)～4/7(金) さらば、永遠の映画少年 遠藤 大森一樹

■上映作品 『オレンジロード急行』1978/86分/嵐寿郎、岡田嘉子、原田芳雄『ヒボクラースたち』1980/126分/古尾谷雅人、伊藤蘭、鈴木清順『風の歌を聴け』1981/100分/小林真、真行寺君枝、巻上公一『すかんびんウォーキー』1984/105分/吉川昇司、山田辰夫、田中邦衛『ユーハ・ガッタ・チャーン』1985/101分/吉川昇司、渡野ゆう子、原田芳雄『ティイ・イット・イージー』1986/108分/吉川昇司、名取裕子、黒沢男『恋する女たち』1986/98分/斎藤由貴、高井麻巳子、相楽ハル子『トット・チャンネル』1987/97分/斎藤由貴、渡辺典子、高嶋政宏『さよなら』の女たち』1987/92分/斎藤由貴、雪村いみづ、古村比呂『女優時代』1988/93分/根津甚八、森本レオ『ゴジラVSビオランテ』1989/105分/三田村邦彦、田中好子、高橋幸治『ゴジラVSキングギドラ』1991/102分/川口安彦、原藤功輔、小高恵美『大災厄』1995/103分/山口智子、鈴木京香、菅野美穂『T.R.Y.』2003/105分/織田裕二、黒木瞳、渡辺謙『悲しき天使』2006/113分/提供:国立映画アーカイブ/高岡早紀、岸部一徳、筒井道隆『進作』『ベトナムの風に吹かれて』2015/114分/松坂慶子、草村礼子、奥田瑛二<特別上映>『虹の彼方のラブソング』2021/大阪芸術大学/107分 ※『タイタントリ』年/分監督:主演

<お断り>大森一樹監督の自主製作映画代表作『暗くなるまで待てない』と『明るくなるまでこの恋を』の上映を今回断念しました。それは、前者は音楽使用許可の問題から1976年にリナリ版が使えなくなった後、後者は1999年の完成から2年後、作曲・主題歌の歌手が急逝され、本作の製作を文書で終わらせていましたことから、その後のこの歌手の封話を余儀なくされました。いつの日か上映したいと願っています。なお、大森監督は2008年に両作とも新しいデジタルバージョンを作られています。

2/25(土)～2/25(土)・3/4(土)外山文治監督舞台挨拶

茶飲友達 2022年/日本/135分 監督・脚本:外山文治
出演:岡本玲、磯西真喜、海沼未羽、渡辺哲、瀧木岬、柳ミレホ
『ソフレ』の外山文治監督が、2013年に発表された高齢者を春香クラブを題材に、超高齢化社会の現代日本の閉塞感や寂しさなど、さまざまな問題を反映して描く群像劇。「茶飲友達」、それは高齢者専門の春香クラブだった…。2/4から東京で公開されるや、驚きの連日満席!『カメラを止めるな!』のENBUゼミナールの製作もあって、「カメ止め」ブームの「シニア版」到来か!?と囁かれるほどの老人の性を見つめる問題作!!

3/4(土)～10(金) 共催:アンヌティュ・フランス

特集 フランス映画の女性パイオニアたち

映画の黎明期から現在、そして将来のフランス映画を担う革新性を備えた気鋭の女性監督たちを特集。世界最初期から、新世代の監督たちまで、それぞれの時代を牽引したパイオニアたちの作品を一挙上映!

■上映作品 『ドン・カルロスのために』1921/80分/サイレント・伴奏/監督:ミュジド・ジャック・ラセーヌ『微笑むブーデ夫人』1923年/43分/サイレント・伴奏/監督:ジェルメヌ・デュラック『魔王』1931年/54分/監督:マリー=ルイーズ・リップ、ジャン・マルゲリット『ワリ1900年』1947年/83分/監督:ニコラ・ヴェドース、『ワリ、18区、夜』1994年/109分/監督:クレール・ドゥ・オリヴィア『ワリヴィア』1951年/96分/監督:ジャクリーヌ・オドリー『シモーヌ・バルベス、あるいは淑徳』1980年/76分/監督:マリー・クロード・トレュー『アランティック』2019年/106分/監督:マティ・ディオップ

3/9(木)～31(金)

アニエス・ヴァルダ監督特集

遺作『アニエスによるヴァルダ』を発表後、2019年3月、生涯現役を貫いて90歳で逝った映画作家アニエス・ヴァルダ。フィクション、ノンフィクションを自由に行き来して、傑作を数多く遺した監督作品7本を一挙上映。

■上映作品 『ラ・ボワント・クールト』1954年/80分/フィリップ・ノワル『5時から7時までのクレオ』1961年/90分/コリヌ・マルセル『幸福』1964年/80分/ジャン・クロード・ドルオー『ダゲール街の人々』1975年/79分『冬の旅』1985年/105分/サンリード・ボネル『落穂拾い』2000年/82分『アニエスによるヴァルダ』2019年/119分

■フランス映画の女性パイオニアたち+ ■アニエス・ヴァルダ監督特集 スケジュール

3/4(土)	16:35 ドン・カルロスのために	18:15 微笑むブーデ夫人+魔王	20:10 パリ1900年
5(日)	16:25 オリヴィア	18:20 シモーヌ・バルベスあるいは淑徳	19:55 アランティック
6(月)	16:25 パリ、18区、夜	18:35 ドン・カルロスのために	20:15 微笑むブーデ夫人+魔王
7(火)	16:25 微笑むブーデ夫人+魔王	18:25 オリヴィア	20:30 ドン・カルロスのために
8(水)	16:25 シモーヌ・バルベスあるいは淑徳	18:00 パリ1900年	19:45 パリ、18区、夜
9(木)	16:25 パリ1900年	18:10 ラ・ボワント・クールト	19:50 冬の旅
10(金)	16:25 アランティック	18:30 5時から7時までのクレオ	20:20 幸福
11(土)	20:30 ラ・ボワント・クールト	18(土)	20:30 ダゲール街の人々
12(日)	20:30 冬の旅	19(日)	26(日)
13(月)	20:20 5時から7時までのクレオ	20(月)	19:00 大いなる沈黙へ
14(火)	20:30 幸福	21(火)	20:20 アニエスによるヴァルダ
15(水)	20:20 ラ・ボワント・クールト	22(水)	20:30 ダゲール街の人々
16(木)	20:20 5時から7時までのクレオ	23(木)	20:40 沈黙へ
17(金)	20:05 幸福	24(金)	20:00 ダゲール街の人々
			31(金)

3/23(木)・26(日)のみ 大いなる沈黙へ 国内最終上映 グランド・シャルトルーズ修道院

2/25(土)～3/3(金) 永遠女優1

おっぱいとお月さま

1994年/スペイン/91分 『マチルダ・メイ演出作品』
あの『スペースパンパ』の衝撃から9年。マチルダ・メイがさらに成熟度を増した官能ドラマ。

4/8(土)～Nikkatsu world selection 日活110周年を記念して海外の映画祭で絶賛された8作品上映!

『殺しの烙印』『神々の深き欲望』『月は上りぬ』『乳房よ永遠なれ』『色情めす市場』『丹下左膳余話 百万両の壺』『河内山宗俊』『幕末太陽傳』

4/8(土)～『ジョン・レノン～音楽が世界を変えた男の真実～』 4/22(土)～『目の見えない白鳥さん』

アートを見に行く『屋根の上のヴァイオリン弾き物語』 6月～没後40年 寺山修司○映像詩展

★シネクラブ新会員制度 ◎年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引/会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。

10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネ・ヌーヴォ オンラインショップ <https://cinenouveau.thebase.in>

昨年刊行した『小川紳介ノート』や『小川紳介を語る』『高林陽一の宇宙』『RESPECT田中徳三』などヌーヴォ ゆかりの品々、また会員の入会&更新の手続きがオンラインショップから出来ます。お気軽にどうぞ!!

シネクラブ合評会(毎月第2曜日開催) ●3/12(日) & 4/9(日) am.13:00～ 【場所】カフェ アッコリエンテ ※当館より1分

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

★シネ・ヌーヴォのSNS<<アカウント>>

twitter → <https://twitter.com/cinenouveau>

Facebook → <https://www.facebook.com/profile.php?id=100057502477921>

Instagram → <https://www.instagram.com/cinenouveau/>

～3/31(金) 全ての道は名画に通ず

大映創立80周年 大映4K映画祭

大映80周年を記念し、大映の秀作・傑作から、知る人ぞ知る良作・怪作など全48作品一挙上映! こちらも大好評!! 熱めく日本映画史!!

3月の上映作品...『無法松の一生』43/80分/福澤浩/阪東妻三郎、圓井照子(短編)キム・ヘンソン併演『羅生門』50/88分/黒澤明/三船敏郎、京マチ子『雨月物語』53/97分/瀬口健二/森雅之、京マチ子『山椒大夫』54/124分/瀬口健二/田中綱代、香川京子『近松物語』54/102分/瀬口健二/長谷川一夫、香川京子『赤線地帯』56/86分/瀬口健二/京マチ子、若尾文子『炎上』58/99分/市川崑/市川雷蔵、中村雁治郎『薄桜記』59/110分/森一/森一生/市川雷蔵、勝新太郎『おとうと』60/98分/市川崑/岸惠子、川口浩『大菩薩峠』60/105分/三隅研次/市川雷蔵、山本富士子『大菩薩峠 竜神の巻』60/90分/三隅研次/市川雷蔵、山本富士子『大菩薩峠 完結篇』61/98分/森一生/市川雷蔵、本郷次郎『女は二度生まれる』61/99分/川島雄三/若尾文子、フランキー堺『雁の寺』62/98分/川島雄三/若尾文子、三島由紀夫『座頭市物語』62/96分/三隅研次/勝新太郎、万里昌代『斬る』62/71分/三隅研次/市川雷蔵、藤村志保『雪之丞変化』63/114分/市川崑/長谷川一夫、山本富士子『剣鬼』65/83分/三隅研次/市川雷蔵、姿美千子『剣青』66/86分/増村保造/若尾文子、長谷川明男『赤い天使』66/95分/増村保造/若尾文子、芦田伸介

～3/3(金) 夢の旅、無意識の開放

奇想天外映画祭 Vol.4

映画史の中からその名を表した選りすぐりの、怪作、珍作、奇作、迷作、異作上映の「奇想天外映画祭」が大好評。いよいよ3/3(金)まで!

この後の上映作品『リキッド・スカイ』『サイド・ストリート』『赤い唇』『マルチブル・マニアックス』

大映4K映画祭+ 奇想天外映画祭Vol.4 スケジュール

25(土)	10:00 流転の王妃	12:00 刻	13:55 夜の河	18:45 マチナブルマーグス	20:40 赤い脣
26(日)	10:00 大菩薩峠	12:05 大菩薩峠の巻	13:55 大菩薩峠完結篇	18:35 リキッド・スカイ	20:45 遊ばせばいいねの恋
27(月)	10:00 夜の河	12:05 流転の王妃	14:05 刻	18:35 犠られる	20:25 マチナブルマーグス
28(火)	10:00 雁の寺	12:00 刻	13:55 夜の河	18:35 出掛け人させぬか	20:40 リキッド・スカイ
3/1(水)	10:00 大菩薩峠	12:05 大菩薩峠の巻	13:55 大菩薩峠完結篇	18:35 赤い脣	20:35 サイト・ストリート
2(木)	10:00 赤い天使	11:55 女は二度生まれる	13:55 雁の寺	18:35 出掛け人させぬか	20:40 マチナブルマーグス
3(金)	10:00 大菩薩峠	12:05 大菩薩峠の巻	13:55 大菩薩峠完結篇	18:35 サイト・ストリート	20:20 リキッド・スカイ
4(土)	10:00 女は二度生まれる	11:55 赤い天使	3/18(土)	—	—
5(日)	10:30 劇鬼	12:15 斬る	19(日)	—	—
6(月)	10:00 雁の寺	12:00 劇鬼	20(月)	10:00 おとうと	12:00 座頭市物語
7(火)	10:00 赤い天使	11:55 女は二度生まれる	21(火)	10:00 座頭市物語	12:00 おとうと
8(水)	10:30 斬る	12:00 赤い天使	22(水)	10:00 おとうと	12:00 羅生門
9(木)	10:30 劇鬼	12:15 斬る	23(木)	10:00 赤線地帯	11:50 刺青
10(金)	10:00 斬る	12:10 劇鬼	24(金)	10:00 刺青	11:50 木線地帯
11(土)	16:20 薄桜記	18:30 炎上	25(土)	10:00 雨月物語	12:00 山椒大夫
12(日)	16:20 無法松の一生	18:20 薄桜記	26(日)	10:00 近松物語	12:00 木線地帯
13(月)	16:20 無法松の一生	18:20 炎上	27(月)	10:00 雨月物語	12:00 刺青
14(火)	16:20 幸福	18:20 薄桜記	28(火)	10:00 山椒大夫	12:25 雨月物語
15(水)	16:20 無法松の一生	18:20 炎上	29(水)	10:00 山椒大夫	12:25 雪の丞変化
16(木)	16:20 薄桜記	18:30 炎上	30(木)	10:00 雪の丞変化	12:15 近松物語
17(金)	16:20 幸福	18:00 薄桜記	31(金)	10:00 雨月物語	12:00 雪の丞変化

3/18(土)・19(日)

大怪獣大特撮大全集

【JJ.M】ジェットジャガー&メガロ誕生祭

上映作品等詳細は劇場または特撮大百科の株式会社キャストでご確認ください。

2/25(土)～3/17(金) アンコール

響け!情熱のムリダンガム

2018年/インド/132分 監督・脚本:ラージーブ・メーナン

インド伝統音楽の打楽器

「ムリダンガム」の奏者を

目指す青年の奮闘を描いた青春音楽映画。

3/18(土)～

大島渚賞受賞!!

やまと

2022年/日本・フランス/97分

監督・脚本:山崎樹一郎

出演:カン・ユンス、薄キララ、川瀬陽太、和田光沙、三浦誠己

今年度大島渚賞受賞!!

岡山・真庭を舞台に、社会の

様々な問題に立ち向かう

山崎監督、渾身の問題作!

3/11(土)～

大島渚賞受賞!!

シネ・ヌーヴォ

2022年/日本・フランス/97分

監督・脚本:山崎樹一郎

出演:水上勉、沢田研二、松たか子

沢田研二キネ旬男優賞など、数々の映画賞に輝く名編。

畠山監督、渾身の問題作!

3/18(土)～

土を喰らう十二ヶ月

2022年/111分

監督・脚本:高橋伴明 脚本:梶原阿貴 出演:板谷由夏

2020年冬、バス停で起きた

悲劇を高橋伴明監督が

怒りの映画化。数多くの

映画賞を受賞した傑作!!

3/4(土)～17(金) 3/4(土)脚本:梶原阿貴 舞台挨拶

夜明けまでバス停で

2022年/91分 監督:高橋伴明 脚本:梶原阿貴 出演:板谷由夏

2020年冬、バス停で起きた

悲劇を高橋伴明監督が

怒りの映画化。数多くの

映画賞を受賞した傑作!!

3/18(土)～

維新派が創ったアート映画館

シネ・ヌーヴォ

2022年/日本・フランス/97分

監督・脚本:中江裕司 原案:水上勉 出演:沢田研二、松たか子

沢田研二キネ旬男優賞など、数々の映画賞に輝く名編。

畠山監督、渾身の問題作!

3/18(土)～

阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分(九条駅の案内地図をご参照下さい)

大阪メトロ中央線「九条駅」6号出口から徒歩3分(アーケード商店街入り口に「マクドナルド」を進み駅構内の手前を右折、次を左折、その次を右折)

●阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分(九条駅の案内地図をご参照下さい)

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

シネ・ヌーヴォ オンラインショップ <https://cinenouveau.thebase.in>

昨年刊行した『小川紳介ノート』や『小川紳介を語る』『高林陽一の宇宙』『RESPECT田中徳三』などヌーヴォ ゆかりの品々、また会員の入会&更新の手続きがオンラインショップから出来ます。お気軽にどうぞ!!

シネ・ヌーヴォ オンラインショッピング <https://cinenouveau.thebase.in>

4/8(土)～『ジョン・レノン～音楽が世界を変えた男の真実～』 4/22(土)～『目の見えない白鳥さん』

アートを見に行く『屋根の上のヴァイオリン弾き物語』 6月～没後40年 寺山修司○映像詩展

★シネクラブ新会員制度 ◎年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引/会員は1

SCHEDULE

シネ・ヌーヴォ シネ・ヌーヴォX

2023年
4月
April

色情めす市場 映倫

4/8(土)~21(金)

日活110周年記念特集上映

Nikkatsu World Selection

海外の映画祭を賑わせた8作品がデジタル復元で美しく蘇る。

日活110周年を記念して、一挙凱旋上映!!

■上映作品

『丹下左膳余話 百万両の壺』『河内山宗俊』『月は上りぬ』『乳房よ永遠なれ』

『幕末太陽傳』『殺しの烙印』『神々の深き欲望』『色情めす市場』



『乳房よ永遠なれ』

『河内山宗俊』

『神々の深き欲望』

◆1912年に創立され110周年を迎えた日本最古の映画会社・日活。カンヌ、ヴェネツィア、ベルリン、東京をはじめとする国際映画祭での選出や、過去10年間に世界50ヵ国以上にて上映され、特に高い評価を得た名作を上映する日活110周年記念特集。デジタル復元版で蘇った名作の数々を一挙上映。

◆日中戦争に召集され、1938年に中国の地でわずか28歳の若さで戦病死した天才監督・山中貞雄の現存する3作のうちの2本——『丹下左膳余話 百万両の壺』は戦後、カットされた幻のシーンを本編に加えて復元。『河内山宗俊』には当時15歳の原節子が出演。また、日本映画史に残る映画女優で日本人2人目の女性監督となった田中絹代監督。監督としての才能が近年、世界中で“新しい発見”として驚きをもって注目された監督作品『月は上りぬ』『乳房よ永遠なれ』の2本を上映。

◆そして、日活ロマンポルノ作品として世界3大映画祭で上映された田中登監督『色情めす市場』、タランティーノ、ジム・ジャームッシュ、ウォン・カーウァイなど世界の監督からもリスペクトされる鈴木清順のスタイリッシュな魅力にあふれた異色アクション『殺しの烙印』、重喜劇の天才・川島雄三がフランキー堺とともに作り上げた名作『幕末太陽傳』、川島を支えカンヌ国際映画祭で二度のパルムドールを受賞した今村昌平監督の神話の大作『神々の深き欲望』など時代劇、感動作からロマンポルノまで、世界で再評価されデジタル復元によって美しく蘇った多様で多彩な8作品。まさに〈日活版〉日本映画史! ご堪能ください。

Nikkatsu World Selection 上映8作品

『丹下左膳余話 百万両の壺』
『河内山宗俊』
『月は上りぬ』
『乳房よ永遠なれ』
『幕末太陽傳』
『殺しの烙印』
『神々の深き欲望』
『色情めす市場』

※タイトル/年分/監督/主演

	2023/3/25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	31(金)	4/1(土)	2(日)	3(月)	4(火)	5(水)	6(木)	7(金)	8(土)	9(日)	10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)	22(土)	23(日)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)		
シネ・ヌーヴォ																																					
	大映創立80周年 大映4K映画祭 10:00~ 2作品上映							さらば、永遠の映画少年 追悼 大森一樹 朝~ 3作品上映																													
								夜のスカート 16:30(~17:10) D																													
								ナナメのろうか C																													
								RIGHTS! パンクに愛された男 A																													
シネ・ヌーヴォ								大ニッポン監督特集 13.14時台~ 3作品上映																													
								茶飲友達 10:30(~12:45) B																													
								土を食らう十二力丸 10:45 B																													
								なんくるないさあ 劇場版 13:10 B																													
								差別 13:00(~14:35) B																													
								紫 MURASAKI 伝説のロック・スピリット (~16:45) B																													
								やまぶき 17:30(~19:10) B																													
								土を食らう十二力丸 17:05 B	(~19:00)																												
								茶飲友達 19:20(~21:00) B																													
								茶飲友達 19:30(~21:45) B																													
								差別 18:30(~20:05) B																													
								茶飲友達 18:30(~20:45) B																													

●毎月1日は映画サービスデー…1200円均一 ●水曜サービスデー…どなたも1200円均一

●毎週曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

※上記表中 ▲は初日、▲は最終日の表示マーク

※ご鑑賞の1週間前から窓口とインターネットで、座席指定のチケットをお求めいただけます。招待券などは窓口からのみになります。

上野昂志の
酔余の一滴
(続) vol.3

好漢惜しむべし!
山根貞男、

映画評論家の山根貞男さんが亡くなつた。
その報らせを聞いてから一週間ほど気持が落ちつかず、何も手につかなかつた。
病氣のことは知つてゐたが、それについても早過ぎるじゃないかと、独り文句を言つてゐた。
山根さんが居なかつたら、わたしは映画批評を書いていなかつたかも知れない。1968年、山根さんが、波多野哲朗さん、手島修三さんと映画批評誌『シネマ69』を創刊する時に、わたしに声をかけてくれたのだ。当時、わたしは、白土三平さんが『カムイ伝』の連載をしていた『ガロ』という漫画雑誌に「目安箱」という社会時評めいた文章を連載していた。それを読ん

でいた山根さんが、上野は映画好きなのではないかと、編集者としての勘で読みとつたらしい。その時、わたし同様、山根さんに声をかけられたのが、蓮實重彦さんだ。ただ、最初からほん出来あがつていた蓮實さんとは違い、わたしは毎回、どう書くかで30枚の原稿を仕上るのに四苦八苦していた。映画を、そこで語られる物語や、いわゆるテーマについてではなく、映画ならではの息づかい、面白さを、いかに言葉にするかで苦闘していたのだ。そんな時に、助け舟を出してくれたのが山根さんだ。彼とあれこれ話をしているうちに頭がほぐれて、活路を見つけだす。優れた編集者は、書き手を育てる

というが、山根さんは、まさにそれだった。

だが、彼はそこに留まらず、みずから映画批評の筆を執る。かくして映画評論家・山根貞男が登場するのだが、その仕事ぶりは、世のいわゆる評論家とは一線を画して異なる。彼は、自分がこれと認めた作家と徹底してつき合う。出来あがつた作品を品定めするのではなく、そのベースにあるものを見定めようとする。その視線は、日本映画史の底に到り、それを現在形へと活性化すべく言葉を探る。日本映画は、そのかなりの部分を、山根貞男によって救われたのである。好漢惜しむべし!

(批評家・映画評論家)

Nikkatsu World Selection スケジュール

4/8(土) 10:00 殺しの烙印	11:55 幕末太陽傳	14:05 乳房よ永遠なれ	16:10 乳房よ永遠なれ
9(日) 10:00 月は上りぬ	12:05 乳房よ永遠なれ	14:15 殺しの烙印	16:10 幕末太陽傳
10(月) 10:00 幕末太陽傳	12:10 殺しの烙印	14:05 乳房よ永遠なれ	16:15 月は上りぬ
11(火) 10:00 乳房よ永遠なれ	12:10 月は上りぬ	14:15 幕末太陽傳	16:25 殺しの烙印
12(水) 10:00 殺しの烙印	11:55 幕末太陽傳	14:05 月は上りぬ	16:10 乳房よ永遠なれ
13(木) 10:00 月は上りぬ	12:05 乳房よ永遠なれ	14:15 殺しの烙印	16:10 幕末太陽傳
14(金) 10:00 幕末太陽傳	12:10 殺しの烙印	14:05 月は上りぬ	16:10 乳房よ永遠なれ
15(土) 13:15 神々の深き欲望	16:30 乳房よ永遠なれ	18:15 片山亮監督百万両の壺	20:10 河内山宗俊
16(日) 13:15 片山亮監督百万両の壺	15:00 月は上りぬ	16:55 乳房よ永遠なれ	20:10 月は上りぬ
17(月) 13:15 河内山宗俊	15:00 乳房よ永遠なれ	16:55 月は上りぬ	18:40 神々の深き欲望
18(火) 13:15 神々の深き欲望	16:30 月は上りぬ	18:15 片山亮監督百万両の壺	20:00 月は上りぬ
19(水) 13:15 月は上りぬ	15:00 月は上りぬ	16:55 神々の深き欲望	18:40 河内山宗俊
20(木) 13:15 河内山宗俊	15:00 月は上りぬ	16:45 月は上りぬ	20:00 片山亮監督百万両の壺
21(金) 13:15 片山亮監督百万両の壺	15:10 月は上りぬ	18:25 河内山宗俊	20:10 月は上りぬ



上映スケジュールはやむを得ない事情により変更される場合もあります。

~4/7(金) さらば、永遠の映画少年 追悼 大森一樹【スケジュール】

3/25(土)	14:25 坂の彼のラブティート	17:10 ヒョウクラテスたち	19:40 トットチャンネル	3/25(土)	10:00 雨月物語
26(日)	13:50 ゴジラvsビオランテ	15:55 ゴジラvsキングギドラ	—	26(日)	10:00 山椒大夫
27(月)	13:50 トットチャンネル	15:50 ヒョウクラテスたち	18:15 ゴジラvsキングギドラ	26(日)	12:00 近松物語
28(火)	14:25 ゴジラVSビオランテ	16:30 ゴジラvsキングギドラ	18:30 トットチャンネル	27(月)	10:00 赤穂地帯
29(水)	14:40 ゴジラvsキングギドラ	16:45 ゴジラvsビオランテ	18:50 「さよなら」の女たち	27(月)	10:00 雨月物語
30(木)	14:15 トットチャンネル	16:10 ゴジラvsキングギドラ	18:15 ゴジラvsビオランテ	28(火)	12:00 刺青
31(金)	14:15 「さよなら」の女たち	16:10 ゴジラvsビオランテ	18:15 トットチャンネル	28(火)	10:00 山椒大夫
4/1(土)	10:20 「さよなら」の女たち	12:10 大失恋。	14:15 憎しき天使	29(水)	12:25 雪之丞変化
2(日)	10:00 T.R.Y.	12:05 憎しき天使	14:15 トトナムの風に吹かれて	30(木)	10:00 雪之丞変化
3(月)	10:30 大失恋。	12:35 「さよなら」の女たち	14:25 T.R.Y.	31(金)	10:00 近松物語
4(火)	10:00 ベトナムの風に吹かれて	12:15 T.R.Y.	14:25 大失恋。	31(金)	12:00 雪之丞変化
5(水)	10:20 「さよなら」の女たち	12:10 大失恋。	14:15 ベトナムの風に吹かれて		
6(木)	10:00 T.R.Y.	12:05 ベトナムの風に吹かれて	14:20 大失恋。		
7(金)	10:00 憎しき天使	12:10 T.R.Y.	14:15 ベトナムの風に吹かれて		

~31(金) アニエス・ヴァルダ監督特集

■3/26以降の上映作品『ダゲール街の人々』1975年/79分『冬の旅』1985年/105分『落葉拾い』2000年/82分『アニエスによるヴァルダ』2019年/119分+『大なる沈黙へ』最終上映2005年/169分



26(日)	19:00 大なる沈黙へ
27(月)	20:20 アニエスによるヴァルダ
28(火)	20:30 ダゲール街の人々
29(水)	20:40 落葉拾い
30(木)	20:20 冬の旅
31(金)	20:10 アニエスによるヴァルダ

4/1(土)~14(金) 夜のスカート

2022年/日本/37分
監督・脚本・編集:小谷忠典
出演:小沢みゆ、木村知貴、新井葵来、南久松真奈、岩原絃
俊英・小谷忠典の最新作は、「夜」から始まり「スカート」に終わる、愛と解放の中編作品。



~4/7(金) 大島渚賞受賞!! やまとぎき

2022年/日本・フランス/97分
監督・脚本:山崎樹一郎
出演:カン・ユンス、裙千理、川瀬陽太、和田光沙、三浦誠己
今年度大島渚賞受賞!!岡山・真庭を舞台に、社会の様々な問題に立ち向かう山崎監督、渾身の問題題作!



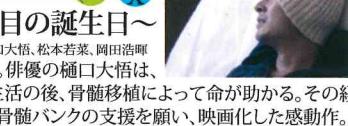
4/8(土)~14(金) 片山亮監督特集

『わかりません』90分/ボブ鈴木、木原勝利
『道草』122分/青野竜平、田中真琴
『とどのつまり』92分/森戸マル子、下京慶子
※連日2作品上映



4/15(土)~28(金) みんな生きている～二つの誕生日～

2022年/113分 監督:高辻和幸 原案:樋口大悟 出演:樋口大悟、松本若菜、岡田浩暉
大森一樹監督の命も奪った急性骨髄性白血病。俳優の樋口大悟は、25歳の時にこの病気と診断され、壮絶な闘病生活の後、骨髄移植によって命が助かる。その経験をもとに、自ら企画・原案・主演。命の大切さ、骨髄バンクの支援を願い、映画化した感動作。



~4/21(金) 茶飲友達

2022年/日本/135分
監督・脚本:外山文治
出演:岡本玲、磯西真喜、海沼未羽、渡辺哲、瀧マキ、岬ミホ
異例の大ヒットとなった『茶飲友達』。超高齢化社会の日本の性の問題をテーマに描いた群像ドラマ。



3/25(土)~31(金) 沖縄二大伝説連続上映!

なんくるないさあ 劇場版 生きてるかぎり死なないさあ
沖縄が誇る喜劇の女王・仲田幸子と、孫で島唄ボーカリストの仲田まさみが主演を務めたコメディ映画。



~4/7(金) 土を喰らう十二カ月

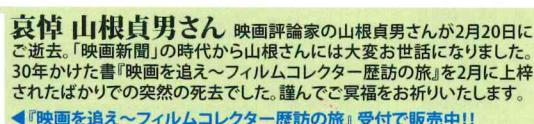
2022年/111分
監督・脚本:中江裕司 原案:水上勉 出演:浜田研二、松たか子、沢田研二、キネ旬男優など、数々の映画賞に輝く名編。本当の豊かさとは何かを見つめた感動作。



紫 MURASAKI 伝説のロック・スピリッツ
2022年/日本/82分
監督:野田孝則 出演:ジョージ・ゼン、1970年、日本復帰前の沖縄にて結成。沖縄の伝説的ロックバンド「紫」を描いたドキュメンタリー。

映画を追え

哀悼 山根貞男さん 映画評論家の山根貞男さんが2月20日にご逝去。映画新聞の時代から山根さんには大変お世話になりました。30年かけた書『映画を追え～フィルムコレクター歴訪の旅』を2月に上梓されたばかりでの突然の死去でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。
◆『映画を追え～フィルムコレクター歴訪の旅』受付で販売中!!



4/29(土)~Yokosuka1953

監督:木川剛志

近日~J005311

監督:河野宏紀 『にわのすなば GARDEN SANDBOX』

監督:黒川幸則

『自分革命映画闘争』

監督:石井岳龍 『どん底』

1936年/監督:ジャン・ルノワール

『NEVER MIND DA 渋さ知らず 番外地篇』

監督:佐藤芳美 没後40年 寺山修司○映像詩展

★シネクラブ新会員制度 ◎年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引/会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。

10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネ・ヌーヴォ オンラインショップ <https://cinenouveau.thebase.in>

昨日刊行した『小川紳介ノート』や『小川紳介を語る』『高林陽一の宇宙』『RESPECT田中徳三』などヌーヴォ

ゆかりの品々、また会員の入会・更新の手続きがオンラインショップから出来ます。お気軽にどうぞ!!

シネクラブ合評会(毎月第2曜日開催)

●4/9(日) & 5/14(日) am.13:00~

【場所】カフェ アッコリエンテ ※当館より1分

シネ・ヌーヴォ Tel.550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

SCHEDULE

2023年
5月
May

シネ・ヌーヴォ シネ・ヌーヴォX

4/29(土)~5/26(金)

死んでも生きられる

生誕百年記念 丹波哲郎祭

日本を代表する名優にして怪優・丹波哲郎。
大作映画に欠かせない存在であり、お茶の間の人気者、
そして国際スターでもあった日本を代表する個性派俳優。
生誕百周年を迎えたことを記念して、
デビュー作から大ヒットしたあの作品、
知られざる佳作まで全17作品、一挙上映!



2023 4/29 30 5/1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 6/1 2

シネ・ヌーヴォ		Yokosuka 1953		※10:30~12:20		※トークのある日は10:15~(HP等要確認)		A		大怪獣 大特撮 大全集		生誕百年記念 丹波哲郎祭		死んでも生きられる		朝~4作品上映		生誕百年記念 丹波哲郎祭		死んでも生きられる		朝~3作品上映		書かれた顔		10:00~(11:30) A			
シネ・ヌーヴォ		生誕百年記念 丹波哲郎祭		死んでも生きられる		12:40~3作品上映		A		生誕百年記念 丹波哲郎祭		死んでも生きられる		12:40~3作品上映		A		死んでも生きられる		11:55~(13:30) A		どん底		11:55~(13:30) A					
シネ・ヌーヴォ		ピエール・エテックス レトロスペクティブ		A		クモとサルの家族		A		18:30~(20:00) ★5/6(土)長澤佳也監督舞台あいさつ		J005311		18:00 (~19:30)		A		にわのすなば		16:10 A (~17:20)		NEVER MIND DA 渋さ知らず番外地篇		13:50 A (~16:05)					
シネ・ヌーヴォX		女性上位時代		B		丘の上の本屋さん		B		Yokosuka 1953		12:45 B (~14:35)		シネマ組踊 孝行の巻		13:10 B (~14:30)		シネマ組踊 孝行の巻		14:55 B (~16:15)		クモとサルの家族		14:50 B (~16:20)		J005311		16:40~(18:10) B	
シネ・ヌーヴォX		小さき妻の花		B		丘の上の本屋さん		B		J005311		16:40~(18:10) B		クモとサルの家族		16:40~(18:10) B		にわのすなば		16:25~23作品上映		A		シャンタル・アケルマン 映画祭2023		※5/27~28のみ16:35~			

●毎月1日は映画サービスデー…1200円均一

●水曜サービスデー…どなたも1200円均一

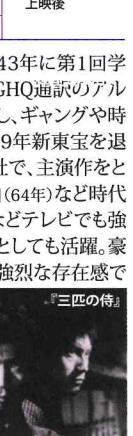
●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

■生誕百年記念 丹波哲郎祭 スケジュール

4/29(土)	12:40 殺人容疑者	14:20 無警察	16:05 霧と影
30(日)	12:40 白星の無頼漢	14:25 東京アタッチャブル	16:20 殺人容疑者
5/1(月)	12:40 東京アタッチャブル	14:35 霧と影	16:15 白星の無頼漢
2(火)	12:40 霧と影	14:25 白星の無頼漢	16:05 東京アタッチャブル
3(水)	12:40 白星の無頼漢	14:20 東京アタッチャブル	16:15 霧と影
4(木)	12:40 東京アタッチャブル	14:30 白星の無頼漢	16:15 無警察
5(金)	12:40 霧と影	14:25 殺人容疑者	16:05 コレラの城
6(土)	12:40 無警察	14:30 コレラの城	16:30 丹下左膳
7(日)	12:40 大豊死んだらどうなる	14:35 大豊界2	16:40 三四匹の侍
8(月)	12:40 三四匹の侍	14:35 丹下左膳	16:25 コレラの城
9(火)	12:40 丹下左膳	14:35 コレラの城	16:30 三四匹の侍
10(水)	12:40 コレラの城	14:40 三四匹の侍	16:35 殺人容疑者
11(木)	12:40 七人の野獣血の宣言	14:35 七人の野獣血の宣言	16:30 無警察
12(金)	12:40 丹下左膳	14:35 七人の野獣血の宣言	16:30 三四匹の侍
13(土)	大怪獣大特撮大全集		
14(日)	※別企画		
15(月)	10:30 砂の小舟	12:30 七人の野獣血の宣言	14:25 脱獄者
16(火)	10:30 七人の野獣血の宣言	12:25 脱獄者	14:15 砂の小舟
17(水)	10:00 脱獄者	11:50 砂の小舟	13:55 大豊死んだらどうなる
18(木)	10:00 御用金	12:20 脱獄者	14:05 軍旗はためく下に
19(金)	10:00 軍旗はためく下に	12:00 砂の小舟	14:00 大豊死んだらどうなる
20(土)	10:00 御用金	12:20 大豊死んだらどうなる	14:10 大豊界2
21(日)	10:10 ひとごろし	11:50 軍旗はためく下に	14:35 忍士(武士)+トーキー
22(月)	10:30 忘八武士道	12:10 ひとごろし	13:50 御用金
23(火)	10:30 忘八武士道	12:50 忘八武士道	14:30 ひとごろし
24(水)	10:30 忘八武士道	12:10 御用金	14:30 忘八武士道
25(木)	10:40 忘八武士道	12:25 ひとごろし	14:10 軍旗はためく下に
26(金)	10:30 ひとごろし	12:10 大豊死んだらどうなる	14:05 大豊界2



★トークショー開催
5/21(日) 13:45
春日太一さん
(映画史研究家)
※『忘八武士道』の上映後



※「タイトル」製作年/配給/監督

当日料金	
一般	1800円
シニア	1200円
学生・会員	1100円
高下	ハーフディキッパ1000円
一般	1700円
シニア	1200円
学生・会員	1100円
高下	ハーフディキッパ1000円
一般	1500円
シニア	1200円
学生・会員	1100円
高下	ハーフディキッパ1000円
※「特」は3回券、または5回券あります	
★オンライン予約は	コチラ↓
読み込みやすい場合は	劇場 ホームページまで

QRコード

上野昂志の
醉余の一滴
(続) vol.4
作品の長さについて

最近、映画がやたら長くなっている。むろん、作品の内的動機によって、必然的に長くなつたという場合は問題ない。というより、そういうときは、こちらも長さを感じないですむ。そうでなく、なんで、こんなに長いんだ、こととそこを切れれば、もっとすっきりするはずだと言いたくなる映画が少なくなったのだ。たとえば、一部では、それなり評価されているらしい、「ジョージア、白い橋のカフェで逢いましょう」。人気のない街や、風に揺れる木々などを撮った風景ショットの一つ一つが、やけに長いのだ。これは、作り手が、どう、美しいでしょ、見てください、と自分たちが撮った絵に見惚れて、淫しているからだ。その

結果が150分。見た目、どんなに美しい風景であろうと、生きて動く映画の展開からすれば、容赦なく切るしかない、ということを作り手がわかっていないのだ。

そんな連中が、しっかり見て学ぶべきは、ダルデンヌ兄弟の『トリとロキタ』である。出身地は違えど、アフリカからベルギーに密航してくるなかで親しくなった12歳の少年トリと、10代後半の少女ロキタが、ベルギーの街で、金を稼ぐために、レストランの料理人の指示で麻薬の売人をしている。しっかり者のトリに対して、ロキタは、ビザ取得の審査に何度も落ちる。彼女は故郷の母に、弟たちを学校にやるための金

を送ろうとするが、密航仲介業者に取り上げられてしまう。それでも、なんとか金を得たい彼女は、さらにヤバい仕事を引き受けた。その結果…。夢を抱いて豊かな世界にやってきた少女と少年が辿る過酷な運命を、しかし、ダルデンヌ兄弟は、一切の思い入れもなしに、淡々とアクションを積み重ねて描いていく。まさにハードボイルド、というべきタッチで押し切るのだが、それだけに、観ているこちらは、トリとロキタに重ねて、世界中どこにでもいるであろう彼らの仲間のことを思いつつ、悲痛な思いにうたれる。それで、この映画、わずか89分なのだ!

(批評家・映画評論家)

上映スケジュールはやむを得ない事情により変更される場合もあります

~5/5(金)

映画監督・俳優・道化師・手品師・イラストレーター・作家・音楽家 ピエール・エテックス レトロスペクティブ

ピエール・エテックスって誰? 長らく観ることの叶わなかった
フレンチコメディの傑作が一挙公開!!

『長編』『恋する男』1962年/84分/ルイ・デリ
ユック賞『ヨーヨー』1964年/98分/カンヌ
映画祭青少年向最高秀映画賞ほか『健康
でさえあれば』1965年/67分『大愛恋』
1968年/87分/ラシアンヌ・マダ賞ほか
『短編』『破局』1961年/12分『幸福な結婚記
念日』1961年/13分/アカデミー賞最優秀短
編実写映画賞ほか『絶好調』1965年/14分



5/15(月)~6/9(金) シャンタル・アケルマン Chantal Akerman 1950-2015

シャンタル・アケルマン映画祭2023

既成の映画ルーティンを破壊し、観る者を新しい地平へと誘う映画監督、シャンタル・アケルマン。昨年、イギリス映画協会が10年ごと選出の「史上最高の映画」にて代表作『ジャンヌ・ディエルマン』が見事1位!(2位『めまい』、3位『市民ケーン』)彼女の特集を昨年に続き今年も開催。劇場初公開作を含む全13本を一挙上映!!

4/29(土)	17:50 ヨーヨー	19:50 大恋愛+幸福な結婚記念日
5/1(日)	18:00 恋する男+破局	19:55 健康でさえあれば+絶好調
2(火)	18:00 ヨーヨー	20:00 大恋愛+幸福な結婚記念日
3(水)	18:00 大恋愛+幸福な結婚記念日	20:00 ヨーヨー
4(木)	18:00 ヨーヨー	20:00 健康でさえあれば+絶好調
5(金)	18:00 恋する男+破局	19:55 ヨーヨー

■上映作品『街をぶつ飛ばせ』1968年/12分『私、あなた、彼、彼女』1974年/86分『ジャンヌ・ディエルマン ブリュッセル1080』コメルス河畔通り23番地』1975年/200分『家からの手紙』1976年/85分『アンナの出会い』1978年/127分『一晩中』1982年/90分『ゴルデン・エイティーズ』1986年/96分『東から』1993年/115分『囚われの女』2000年/117分『オルメイヤーの阿房宮』2011年/127分特別上映『アメリカン・ストーリーズ』1988年/92分『No Home Movie』2015年/115分『(ジャンヌ・ディエルマン)をめぐって』1975年/78分

『アンナの出会い』

『街をぶつ飛ばせ』

『あなた、彼、彼女』

『ゴルデン・エイティーズ』

『東から』

『囚われの女』

『オルメイヤーの阿房宮』

『アメリカン・ストーリーズ』

『No Home Movie』

『(ジャンヌ・ディエルマン)をめぐって』

『囚われの女』

『ゴルデン・エイティーズ』

『東から』

『囚われの女』

『オルメイヤーの阿房宮』

『アメリカン・ストーリーズ』

『(ジャンヌ・ディエルマン)をめぐって』

『囚われの女』

『ゴルデン・エイティーズ』

『東から』

<



Ciné Nouveau X

2023年
6月
June

SCHEDULE

シネ・ヌーヴォ シネ・ヌーヴォX

映画監督○寺山修司
映像の魔術師・寺山修司の
シユールでアヴァンギャルドな映像作品一挙上映!!
★6/11(日) 13:20(上映後)
森崎廣隆さん&菅目浩之さんトーク開催

★6/11(日) 13:20(上映後)
森崎偏隆さん＆笛目浩之さんトーク開催

シユールでアヴァンギャルドな映像作品一挙上映!!

6/10(土)	13:00 書を捨ててよ町へ出よう	15:40 あゝ、荒野[前篇]	18:40 あゝ、荒野[後篇]	—
11(日)	13:20 田園に死す —トーカー	15:45 さらば箱舟	18:25 上海異人娼館	20:25『草迷宮』ほか
12(月)	13:00 実験映画集2	15:05 書を捨ててよ町へ出よう	17:45 田園に死す	19:50 さらば箱舟
13(火)	13:00 田園に死す	15:05 さらば箱舟	17:35 『草迷宮』ほか	14:45 上海異人娼館
14(水)	13:00 書を捨ててよ町へ出よう	15:40 『草迷宮』ほか	17:35 書を捨ててよ町へ出よう	20:15 実験映画集2
15(木)	13:15 上海異人娼館	15:15 実験映画集2	17:20 『草迷宮』ほか	19:15 田園に死す
16(金)	13:00 さらば箱舟	15:30 田園に死す	17:50 上海異人娼館	19:30 書を捨ててよ町へ出よう

6/10(土) & 6/17(土)~23(金) 2017年
あゝ、荒野 〈前篇・後篇〉 前篇:157分 後篇:147分
監督:岸幸善 / 原作:寺山修司 出演:菅田将晖、ヤン・イケチュン
「心の荒野」を見つめた寺山修司が遺した唯一の長編小説の映画化。2017年、映画賞を独占した傑作。



◆47歳で急逝した寺山修司の没後40周年を記念し「映画監督○寺山修司」を開催。歌人、詩人、劇作家、小説家、写真家、脚本家、映画監督など、様々なジャンルで多彩な活躍を見せた才人・寺山修司。その魅力のひとつに、一瞬のうちに虜にされてしまう幻想的でカルトな映像作品の数々がある。「書を捨てよ町へ出よう」「田園に死す」から、久々の上映となるフランス資本による異色の官能劇『上海異人娼館』さらに寺山主宰の演劇実験室「天井棋敷」を母体に演劇パフォーマンスを組み込み製作した数々の実験映画、そして遺作となつた『さらば箱舟』などの寺山監督作品と、2017年度の映画賞を総なめにした寺山原作『あゝ、荒野』を含め9プログラムによる特集上映を開催! ◆ビジュアルアーツ専門学校・大阪のアーツホール特設スクリーンでは1日限りのパフォーマンス・観客参加上映も実施。森崎偏陸(寺山義弟)が49年間演じてきた実験映画『ローラ』の最期となるパフォーマンスを披露! 彼が出演しないと2度と見ることのできない歴史的上映。寺山は、生きていれば今年は米寿(88歳)。故人へのオマージュ性もあり、時代の上の映画作品、人生上映を目前にせす!

■上映作品『書を捨てよ町へ出よう』71「時代を挑発する」家作の思想家、寺山初の長編映画『田園に死す』74「恐山を舞台にした自伝的作品、千八草薙の美しさ!」『さらば姫島』84「虚構の歴史を描いた一大叙事詩。遺作『上海異人娼館』84「フランス資本で製作された『娘の物語』の続編『草迷宮』79「死んだ手の甲斐を探す少年の物語。三上博史が映画初出演『迷宮譚』75「消しゴム」77ほか『実験映画集』1「少年のための映画入門』74「マーロウの歌」77「ローラー」74「審判」75ほか『実験映画集』2「60's マトケチャヤマ童話」71「蝶恋譚」74「二頭女一影の映画」77ほか



『書を捨てよ町へ出よう』

寺山 修司 1935~1983
1935年10月10日、青森県生まれ。18歳で短歌研究賞人賞特選を受賞し、歌壇に鮮烈にデビュー。20代前半で売れたシナリオライターとなる。67年には劇団・演劇実験室「天井棧敷」を結成、海外で高い評価を得る。詩、俳句、短歌、戯曲、映画、競馬、スポーツエッセイ、作詞、小説、評論など、その多彩な事業から「職業 寺山修司」と称される。1983年5月4日47歳で急逝。2023年、青森県三沢市にある寺山修司記念館を中心に後40年の事業を展開する。

	25	26	27	28	29	30	31	6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
シネ・ヌ・ヴィオ 	書かれた顔 10:00 (~11:35) A どん底 11:55 (~13:30) A NEVER MIND DA 渋さ知らず 番外地篇 (~16:05) シャンタル・アケルマン 映画祭 2023 朝~ 2作品上映 16:25~ 2~3作品上映 ※5/27~28のみ16:35~	書かれた顔 10:00 (~11:35) A シャンタル・アケルマン 映画祭 2023 朝~ 2作品上映 16:25~ 2~3作品上映 ※5/27~28のみ16:35~	マゴーネー 土田康彦 「運命の交差点」についての研究 (~12:40) 寺山修司没後40年 寺山修司映画祭2023 映画監督○寺山修司 局~ 3~4作品上映 ★6/11(日)森崎偏隆さん & 笹目浩之さんトーク開催 NEVER MIND DA 渋さ知らず 番外地篇 19:00 A (~21:15)	マゴーネー 土田康彦 「運命の交差点」についての研究 (~12:40) 寺山修司没後40年 寺山修司映画祭2023 映画監督○寺山修司 局~ 3~4作品上映 ★6/11(日)森崎偏隆さん & 笹目浩之さんトーク開催 NEVER MIND DA 渋さ知らず 番外地篇 19:00 A (~21:15)	修験ルネッサンス 10:35 A ※6/17~18の8時開場 (~12:00) ぼくたちの哲学教室 12:20 (~14:05) 16:25 (~18:10) マゴーネー 土田康彦 「運命の交差点」についての研究 (~16:05) 1PM -ワン・アメリカン・ムービー A 5/17~21~23~18:30 5/18~20~19:40 1PM -ワン・アメリカン・ムービー ニューヨークの中国女 連続鑑賞券引あり 5/17~20~21~23~20:20 18:20~18:30 14:45~ 3作品上映予定	ぼくたちの哲学教室 10:00 A (~11:45) 同じ下着を着るふたりの女 12:05 A (~14:25) 追悼 ジャン=リュック・ゴダール 映画祭 1PM -ワン・アメリカン・ムービー ニューヨークの中国女 14:45~ 3作品上映予定																															
シネ・ヌ・ヴィオ 	にわのすなば 11:20 B (~12:30) 差別 <アンコール上映> 13:00 B J005311 15:00 B (~16:30) ピンク・クラウド 16:55 B (~18:40)	ピンク・クラウド 11:00 B (~12:45) 追悼 斎藤久志監督 草の響き 13:05 B (~15:05) にわのすなば 17:25 B (~18:35) 差別 <アンコール上映> 19:00 B (~20:35)	どん底 11:20 (~12:55) 書かれた顔 13:20 B (~14:55) NEVER MIND DA 渋さ知らず 番外地篇 15:20 B (~17:35) 追悼 斎藤久志監督 草の響き 18:00 B (~20:00)	NEVER MIND DA 渋さ知らず 番外地篇 10:30 B (~12:45) 寺山修司映画祭2023 関連上映 あゝ荒野 前篇 13:10 B (~15:50) あゝ荒野 後篇 16:10 B (~18:40) どん底 19:25 (~21:00)	修験ルネッサンス アダマン号に乗って マゴーネー 土田康彦「運命の交差点」についての研究																																

●毎月1日は映画サービスデー…1200円均一 ●水曜サービスデー…どなたも1200円均一

●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

※上記表中 ▲は初日、■は最終日の表示マーク

※ご鑑賞の1週間前から窓口とインターネットで、座席指定のチケットをお求めいただけます。招待券などは窓口からとのみになります。

コチラ↓
読み込めない
場合は

ホーリベニジ

まで

のみなります。□

Digitized by srujanika@gmail.com

上野昂志の
醉余の一滴
〈続〉vol.5

寺山修司だつて？

寺山修司の名前を聞いて、真っ先に思い浮かぶのは、「マッチ擦るつかのま海に霧ふかし身捨つるほどの祖国はありや」という短歌だ。どうです？ 口に出てて詠み上げてござんなさい。格好いいでしょ。ただ、この上の句は、他人の句を拝借してきたものなんだ。それで非難されたりもしたが、下の句が、見事に全体を生かして大きな佇まいを見せていることは確かだ。寺山は、このようなコラージュの天才なのだ。当時の若者たちに多大な影響を与えた『書を捨てよ、町に出よう』だって、アンドレ・ジッドから拝借したものだし。彼は、短歌のみならず、芝居も作詞や映画にもマルチ

な才能を発揮したが、ベースには、模倣による反復とずらしというコラージュ的手法がある。それは、オリジナルという神話が崩壊した20世紀の芸術に通底する姿勢といっていいだろう。アンディ・ウォーホールのスープ缶やマリリン・モンローの画像にしても、模倣と反復によるずれに、新たな美を生み出したように。寺山は、日本では、まだそのような方向が定かでなかった時代に、主として、言葉でそれをやったのである。彼の実験的といわれる演劇にしても、その発想のもとは、やはり言葉だった。そのような寺山の多彩な活動を、86歳の寺山修司がアイドルを募集するという設

定で、往時の彼の活動を模倣・反復しつつ、その行く末までを見事に描き出したのが、中森明夫の小説『TRY48』なので、是非ご一読を。

今回、シネ・ヌーヴォで上映される映画のラインナップを見て、ホーッと感心したのは、東映がらみの『ボクサー』を除いて、短篇までを含めて、ほぼ全作があがっていることだ。なお『草迷宮』では相米慎二が助監督を務めているが、『台風クラブ』の一場面で、寺山の映画に似合いそうな輩が出てくるショットがあるのですらほんとうに置下さい。

(批評家・映画評論家)

~6/9(金) シャンタル・アケルマン Chantal Akerman 1950-2015

シャンタル・アケルマン映画祭2023

「史上最高の映画!」シャンタル・アケルマン作品をお見逃しなく!!

5/27(土)	16:35	『ジャンヌ・ディエルマン』をめぐって	18:15	『囚われの女』	20:30	『ゴルデン・エイティーズ』
28(日)	16:35	『ジャンヌ・ディエルマン』	20:15	『一晩中』		
29(月)	16:25	『ゴルデン・エイティーズ』	18:20	東から(日本語字幕なし)	20:35	『囚われの女』
30(火)	16:25	『一晩中』	18:15	『ジャンヌ・ディエルマン』		
31(水)	16:25	アメリカン・ストーリーズ	18:20	『囚われの女』		
6/1(木)	16:25	『ジャンヌ・ディエルマン』	20:05	アメリカン・ストーリーズ		
2(金)	16:25	アメリカン・ストーリーズ	18:15	『No Home Movie』	20:30	東から(日本語字幕なし)
3(土)	11:00	アメリカン・ストーリーズ	12:55	『No Home Movie』		『アメリカン・ストーリーズ』
4(日)	10:40	『Home Movie』	12:55	東から(日本語字幕なし)		
5(月)	10:50	オルメイヤーのア房宮	13:15	アメリカン・ストーリーズ		
6(火)	10:25	東から(日本語字幕なし)	12:55	『No Home Movie』		
7(水)	10:25	『No Home Movie』	12:40	オルメイヤーのア房宮		
8(木)	11:00	アメリカン・ストーリーズ	12:55	東から(日本語字幕なし)		
9(金)	10:30	オルメイヤーのア房宮	12:55	『No Home Movie』		

5/27(土)~6/16(金)

書かれた顔 <4Kレストア版>

監督:ダニエル・シュミット

主演:坂東玉三郎

1995年／スイス・日本／89分 撮影:レナート・ペルラ 助監督:青山真治

共演:武原はん、杉村春子、大野一雄、篠原清小松朝ひ、坂東弥十郎、宍戸開、永澤俊矢

『ラ・パロマ』など退廃的な映像美で知られる監督ダニエル・シュミットが、歌舞伎界で当代一人気を誇る女形、坂東玉三郎を主演に、杉村春子、武原はん、大野一雄など、世紀末日本の黄昏に消えゆくレジェンドたちをフィクションとドキュメンタリーの境界線上に、虚構としての日本の伝統的女性像を浮かびあがらせる一瞬の煌めき! 傑作!!

5/27(土)~6/23(金)

どん底 <4Kレストア版>

監督:ジャン・ルノワール

出演:ジモン・ギバパン、レイ・ジューヴェ

1936年／フランス／93分 配給:川崎市アートセンター(15周年記念事業)

原作:マクシム・ゴーリキー 助監督:ジャック・ベッセル 共演:シェージー・ブリム、ジュニー・アストル

ロシア文学を代表するゴーリキーの名作戯曲を、ジャン・ルノワール

監督が当時存命だったゴーリキーの許諾を得て、名優ジモン・ギバパン、フランス演劇界の至宝レイ・ジューヴェ主演で脚色・映画化。どん底から出していく男と、どん底へ落ちていく男の友情を、安宿に暮らす人々の群像のなかで描いた映画史の名作。第1回レイ・デリック賞!

5/27(土)~6/23(金) ★6/27・28 佐藤訪米監督舞台挨拶!

NEVER MIND DA 渋さ知らず 番外地篇

2022年／日本／129分 監督:佐藤訪米 出演:不破大輔、佐々木彩子、渋谷毅、林榮一、

ススキヨージ、のなき悟、鶴巻紹之、山本精一、大友良英、金平茂記、渡部真一、戒井昭人

世界の評価も高い音楽グループ「渋さ知らずオズケストラ」の30年以上にわたる歴史となるミュージシャンたちの演奏と肉声を重ね、またバンドマスター・不破大輔の新たなライブ演奏シーンや過去の秘蔵映像をもまじえ、彼らの知られざる魅力に迫ったドキュメンタリー映画。『京極真珠』(1997年)以来、実に25年ぶりの佐藤訪米監督最新作!!

6/10(土)~

*6/11(日) 土田康彦さん舞台挨拶!

世界的に活躍するベネチアンガラス作家・土田康彦の創作に迫る!

マゴーネ 土田康彦「運命の交差点」についての研究

2021年／日本／96分 監督:脚本:撮影:編集:田邊アツミ 劇中歌:GLAY

出演:土田康彦、宮脇龍、臺住彦、403 architecture[daijiba]、大友章里、TERU

水の都ベネチアで1000年に渡って受け継がれ、多様な色彩と高い装飾性で知られるベネチアンガラス。熟練のガラス職人が集うムラーノ島に唯一スタジオを構える日本人・土田康彦。独自の哲学と日本の美を吹き込んだ作品で世界中から注目を集める彼は、一流の料理家としての面も併せ持つ。アートと食を繋ぐ彼の作品と創作の秘密を8年で記録したドキュメンタリー。

6/17(土)~

*6/17・28 田中千世子監督ミニトーク開催!

修验ルネッサンス 田中千世子監督作品

2022年／日本／84分 撮影:鈴木一博、山本大輔 出演:高木亮英、立川寸志

熊野をテーマにドキュメンタリー3部作を手掛けた田中千世子監督

が、熊野における修驗道を記したドキュメンタリー。明治初期の神仏分离と修驗道禁止によって熊野と吉野を結ぶ道は荒廃するが、修驗者たちにより復活。熊野から吉野へ向かう「順峯」と呼ばれる道を、那智山青岸渡寺の高木亮英導師に同行。熊野修験を記録した渾身作。

6/24(土)~

*6/25(日) キム・セイン監督舞台開催!

同じ下着を着るふたりの女

2021年／韓国／139分 監督:脚本:キム・セイン 出演:イム・ジホ、ヤン・マルボク

互いを完全に愛することも憎むこともできない母娘の複雑な心情を

韓国の新鋭キム・セインが真摯に描く話題作。鬼気迫る親子の衝突と、ままならない人間同士の悲哀、ふたりの複雑な感情など、近年の韓国フェミニズムやシスター・フード映画の“次”をいく新たなアリズムとして世界の映画祭で絶賛! 2021年釜山国際映画祭で5部門受賞!!

〈ご案内〉6月以降は、土曜・日曜・祝日は座席を全席開放とさせていただきます。

(平日は引き続き、「シネ・ヌーヴォ」B列・E列、「シネ・ヌーヴォX」はA・B・D列を隔席にて営業いたします)

7/1(土)~『山女』 「遠野物語」に着想を得て、18世紀末の東北を舞台に懸命に生きる女性を描く問題作
2022年/監督:福永壮志 出演:山田杏奈、山川未央、二ノ宮隆太郎、三浦透子、中山崇、永瀬正敏
7/22~『70歳のチア・リーダー』 夏の日本映画大回顧展 生誕90年 女優岡田茉莉子
8/19~1月翌 映画監督・小林政広 9/2~ウルリケ・オッテンインガー「ベルリン三部作」&『東京裁判』『ひろしま』『野火』 優秀映画鑑賞会2023 黒澤明監督特集

編集後記 全国のミニシアターの草分け「名古屋シネマテーク」が7月末で閉館することが発表された。自主上映時代からの盟友で、「自主上映館」として1982年にオープンし、その後はミニシアターとして多彩な作品を上映し、堅実な運営で知られてきた同館だっただけに、その閉館は決して人ごとではない。実際、コロナ後の観客減が私たちの体力をただただ奪い続けている。これまで、40年もの長きに渡って活動された同館。「精いっぱいやった。もうここまでできたらダメだ」本当に疲れ様でした。

★シネクラブ新会員制度 ○年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引/会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネクラブ合評会(毎月第2曜日開催)

●6/11(日) & 7/9(日) am.13:00~

【場所】カフェ アッコリエンテ ※当館より1分

シネ・ヌーヴォ ™550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

シネ・ヌーヴォ SNS

twitter

Facebook

Instagram

6/17(土)~ やられたら、やりかえす? それでいいの?

Cine Nouveau X

監督:ナーサ・ニ・キアナン、デクラン・マッグラ

2021年／アイルランド・イギリス・ベルギー・フランス／102分 出演:ケビン・マカリーピー

北アイルランド紛争によりプロテスタンツとカトリックの対立が繰り返され、今も「平和の壁」に分断された街、ベルファスト。闘争の傷跡

が残る地区にある男子小学校では「哲学」が主要科目となっており、校長が哲学の授業を通じて、子供たちに対話をすること、不安や怒りをコントロールする大切さなどを伝える。かつて暴力で問題解決を図ってきた後悔と挫折から、新たたん憎しみの連鎖を生み出さないために導き出した1つの答えが哲学の授業なのだ。哲学の授業を2年間にわたって記録したドキュメンタリー。

カフェフィロ[®]シネマ哲学カเฟ>『ぼくたちの哲学教室』開催! 6月18日(日)14:30-16:30
会場:九条東会館(シネ・ヌーヴォから2分) 12:20からの「ぼくたちの哲学教室」終了後、参加ご希望の皆さんはご案内します!
参加費:300円(ペットボトルの飲み物付き)、高校生以下は無料(事前申込は不要です。お気軽にご参加下さい。詳しいはヌーヴォまで)

6/17(土)~

追悼ジャン=リュック・ゴダール

1930.12.3 - 2022.9.13

1PM ワン・アメリカン・ムービー

1971年／アメリカ／90分 監督:D・A・ペネベイカー、リチャード・リコック

出演:ジャン=リュック・ゴダール、エルドリッジ・クリーヴィー、ジエフアーン・エアブレイン

政治の季節、激動の1968年秋、ゴダールはドキュメンタリー『1AM』

(ワン・アメリカン・ムービー)制作のためアメリカへ渡り、ダイレクト・シネマの旗手D・A・ペネベイカーとリチャード・リコックと共にアメリカの反体制的な政治と文化に目を向けるが頓挫。『1PM』として完成したゴダールの姿と目論見が描かれた貴重な記録。

ニューヨークの中国女

1968年／アメリカ／41分 監督:D・A・ペネベイカー、リチャード・リコック

出演:ジャン=リュック・ゴダール

ゴダールが世界の若者たちに徹底的な影響を与えた1968年、『中國女』(1967年)の配給権を取得したリーコックとペネベイカーは、ゴ

ダールをアメリカに招請。1968年4月4日、ニューヨーク大学の学生たちと、『中国女』を巡って議論を交わした貴重な記録。ゴダールの語り口、そして影響力!! ゴダールはゴダールである!

追悼ジャン=リュック・ゴダール映画祭

2022年9月13日、自らこの世を去ったゴダール監督。“スーザン・ヴァーグ”の旗手として、時代の寵児として最も影響を与え続けた映画監督、最も特徴的な1960年代と1980年代を中心に、滅多にスクリーンでは観ることのできない全9作を追悼上映。ゴダール=映画は生き続ける。

『小さな兵隊』 1960年/88分/ミシェル・シュポール、アン・カリーナ ★

アルジェリア戦争を題材とした『勝手にしやがれ』に続く長編第二作

『カラビニエ』 1963年/80分/リノ・マゼ、アルベール・ジロス ★

戦争に翻弄される無知な若者2人の運命を寓話的に描いた風刺劇

『はなればなれに』 1964年/96分/クロード・ブラッスル、アン・カリーナ ★

アメリカの犯罪小説を原作に、2人の男と1人の女が織り成すメロドラマの傑作

『ウイークエンド』 1967年/104分/ジャン=ヤンヌ、ミレーヌ・ダルク ★

週末に旅行へ出かけた夫婦が狂気の渦へ…。交通渋滞の移動撮影は巻圧!!

『パッショ』 1982年/88分/イザベル・ユペール、ミシェル・ピコリ、ハンナ・シグラ ★

芸術映画の製作に奔走する撮影隊を描く、いかにもゴダールならではの問題作

『カルメンという名の女』 1983年/85分/マル・シーカ・デーモレス、ゴダール ★

第40回ベネチア国際映画祭金獅子賞に輝くゴダール流“カルメン映画”

『ゴダールのマリア』 1985年/107分/ミリアム・ルーセル、ジュリエット・ビノシュ

聖母マリアの処女貞胎とキリストの誕生を現代に置き換えて描く問題作

『ゴダールの探偵』 1985年/98分/ジャン=ピエール・オタリ、バイ

カサヴェテス、イーストウッド、ウルマーに捧げた罪犯群像悲喜劇

『ゴダールの決別』 1993年/84分/ジラール・ドルレーブ、ロラン・スマリア

夫にギリシャ神話中のゼウス神が乗り移る? 最も美しいゴダール映画の一本

にわのすなば GARDEN SANDBOX

2022年／日本／70分 監督:黒川幸則 出演:カワシママリノ

帰りたいのに帰らない「行き先不明」のロードムービー。カフェバー「キノコヤ」

が製作した第一回作品。

~6/9(金) <アンコール上映>

差別

2021年／韓国／88分 監督:キム・ジウ、キム・トヒ

2010年から実施された日本

の高校無償化政策から

唯一除外された朝鮮高級

学校。国による差別を訴える

渾身のドキュメンタリー。

6/3(土)~16(金) 追悼・斎藤久志監督

草の響き

2021年／日本／116分 監督:斎藤久志 原作:佐藤泰志

出演:東出昌大、奈緒、大東駿介、Kaya、林裕太、利剛、室井滋

心を病み、函館の街を黙々と走り続ける男の、生の輝きを描き出す。昨年12月に急逝した斎藤久志の遺作。

維新派が創ったアート映画館

至神戸 阪神本線

阪神なんば線

西九条

弁天町

大阪港

九条駅

JR環状線

地下鉄筋筋

大阪メトロ中央線

本町 森の宮

なんば 近鉄電車

天王寺

シネ・ヌーヴォ

cine nouveau

6号出口

阪神九条駅

マクトナリ・ケア・レジデンス

九条駅

ミナミ通り

九条駅

九条

SCHEDULE

シネ・ヌーヴォ シネ・ヌーヴォX

Ciné Nouveau
Ciné Nouveau X

2023年
7月
July

7/15(土)~8/18(金) シネ・ヌーヴォ 夏の日本映画大回顧展

生誕90年 映画女優・岡田茉莉子

戦後日本を代表する女優・岡田茉莉子。

小津安二郎、成瀬巳喜男、木下恵介、今井正、大庭秀雄、中村登、渋谷実、そして伴侶となった吉田喜重監督など

日本映画の巨匠たちがござつて主演に抜擢した名女優。

生誕90年を祝うとともに、昨年12月の吉田喜重監督の逝去を偲んで、二人の代表作10本を含む、メロドラマから時代劇、喜劇、問題作など、岡田茉莉子出演作全27本を、この夏、一挙上映!!



◆「女優王国」と言わされた松竹にあって、数々のメロドラマのヒロインを演じ続けた女優・岡田茉莉子。そのメロドラマは、ただ運命に流されるのではなく、それに抗い続ける強い自我意識を持った、まさに岡田茉莉子にしか演じきれないヒロインだった。1964年に吉田喜重監督と結婚後はフリーに転じ、さらに女性としての性に向かい人間の深部に迫る数々の女性像を演じきった。戦後日本を代表する屈指の女優の生誕90年を祝って特集上映を開催。同時に、昨年12月の吉田喜重監督の逝去を偲んで、ふたりの第1作『秋津温泉』から吉田監督の遺作となった『鏡の女たち』まで計10本を含む、岡田茉莉子出演作全27本を一挙上映!!

※ただし、これまで「松竹メロドラマ特集」や小津安二郎監督特集などで上映してきた作品は除きます。

■上映作品 『坊っちゃん』'53年/東京映画/丸山誠治/池部良、森繁久彌『やくざ囃子』'54/東京映画/マキノ弘/鶴田浩二、河津清三郎『芸者小夏 ひとり寝る夜の小夏』'55/東宝/青柳信雄/森繁久彌、志村喬『土砂降り』'57/松竹/中村登/佐田啓二、桑野みゆき『花のうす瀬』'58/松竹/大庭秀雄/大木実、佐田啓二『春を待つ人々』'59/松竹/中村登/佐分利信、有馬鶴子『櫻』'59/松竹/番匠義影/笠智衆、石濱朗『海流』'59/松竹/堀内真直/大木実、南原伸二『ハナタ』'60/松竹/渋谷実/柳川雅彦、尾上松緑『女舞』'61/松竹/大庭秀雄/佐田啓二、三浦田樹『秋津温泉』'62/松竹/吉田喜重/長門裕之、宇野重吉『結婚式・結婚式』'63/松竹/中村登/伊志井寛、田中耕太『喜劇 各駅停車』'65/東京映画/井上和男/森繁久彌、三木のり平『水で書かれた物語』'65年/中日映画社/吉田喜重/波丘ルイ子、入山保則『女のみづみ』'66/現代映画社/森繁久彌、吉田喜重/早川保、露口茂『誰が旗を振り殺す まきり』'67/松竹/井上梅次/吉村寅子、加東大介『情炎』'67/現代映画社/吉田喜重/木村功、高橋悦史『炎と女』'67/現代映画社/吉田喜重/木村功、小川真由美『樹氷のよめき』'68/現代映画社/木村功、嵯峨幸雄『戦いすんて日が暮れて』'70/松竹/長谷川夫/川崎敬三、入山ひとみ『エロス+虐殺』'70/現代映画社/木村功、袖佐子『煉獄エロイカ』'70/現代映画社・ATG/吉田喜重/鶴田浩二、木村菜穂、『喜劇 命のお値段』'71/松竹/前田陽一/フランキー堺/財津一平『告白の女優論』'71/現代映画社/吉田喜重/浅丘ルイ子、有馬鶴子『黒の奔流』'72/松竹/渡辺祐介/山崎努、松坂慶子『凍河』'76/松竹/斎藤耕一/中村雅俊、五十嵐順子『鏡の女たち』'2003/現代映画社ほか/吉田喜重/中田好子、一色紗英 ※製作年/会社/監督/共演者

↑映画女優・岡田茉莉子

『情炎』(1967年)
監督：吉田喜重

2023	6/27	28	29	30	7/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
シネ・ヌーヴォ	ぼくたちの哲学教室 10:00 (~11:45)	山女 10:00 (~11:40) A 14:00 (~15:40)	ジャン=リュック・ゴダール 特集 追悼 ジャン=リュック・ゴダール監督 10:50 ~ 3作品上映 ※7/10(月)のみ11:40~	特 70年のチア・リーダー 10:00 (~11:25) A ※7/30(日)のみ11:00~	当料金																														
シネ・ヌーヴォX	ぼくたちの哲学教室 12:00 (~13:45)	ぼくたちの哲学教室 12:00 A	映画女優 岡田茉莉子 朝～ 4作品上映	シニア1200円 学生・会員1100円 高以下・ハンドイキャップ1000円																															
シネ・ヌーヴォ	ジャン=リュック・ゴダール 特集 追悼 ジャン=リュック・ゴダール監督 16:00 ~ 2作品上映 14:45 ~ 3作品上映	タクミくんシリーズ 16:30 A ※7/15(土)・16(日)トーキョー開催 ゲスト: 上野昂志さん(映画評論家・批評家)	大怪獣 岡田茉莉子 特撮大全集 11:45 ~ 4作品上映	一般1700円 シニア1200円 学生・会員1100円 高以下・ハンドイキャップ1000円																															
シネ・ヌーヴォX	同じ下着を着る ふたりの女 14:45 ~ 3作品上映	山女 18:10 (~19:50) A ぼくたちの哲学教室 20:10 Late ※21:55	タクミくんシリーズ 18:30 A ※19:50	一般1500円 シニア1200円 学生・会員1100円 高以下・ハンドイキャップ1000円																															
シネ・ヌーヴォ	修驗ルネサンス 11:00 (~12:25) B	アダマン号に乗って 11:00 (~12:50) B 私のプリンス・エドワード 11:00 (~12:35)	ぼくたちの哲学教室 11:00 B ※7/23(日)は休映	特 70年のチア・リーダー 10:00 (~11:25) A ※7/30(日)のみ11:00~	★オンライン予約は コチラ↓																														
シネ・ヌーヴォX	アダマン号に乗って 13:00 (~14:50) B	郊外の鳥たち 13:15 (~15:10)	縁路はるばる 13:00 B 同じ下着を着る ふたりの女 15:00 B 私のプリンス・エドワード 15:55 B ※7/23(日)は休映	帰れない山 11:00 (~13:30) B タクミくん シリーズ 13:55 (~15:35) B ※7/23(日)は休映	シニア1200円 学生・会員1100円 高以下・ハンドイキャップ1000円																														
シネ・ヌーヴォ	郊外の鳥たち 15:15 (~17:10) B	なぎさ 15:40 (~17:10)	なぎさ 15:00 B 同じ下着を着る ふたりの女 15:20 B タクミくんシリーズ 16:00 B ※7/23(日)は休映	山女 13:55 (~15:35) B 倉敷物語 はちまん 18:00 B タクミくんシリーズ 16:00 B ※7/23(日)は休映	一般1500円 シニア1200円 学生・会員1100円 高以下・ハンドイキャップ1000円																														
シネ・ヌーヴォX	マゴーネ 17:35 (~19:15)	なぎさ 17:50 (~19:20) B	なぎさ 17:50 (~19:20) B 縁路はるばる 18:00 B ぼくたちの哲学教室 17:45 B ※19:40	帰れない山 18:00 B ぼくたちの哲学教室 17:45 B ※19:40	★オンライン予約は コチラ↓																														

●毎月1日は映画サービスデー…1200円均一 ●水曜サービスデー…どなたも1200円均一

●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

※上記表中 ▲は初日、■は最終日の表示マーク

※ご鑑賞の1週間前から窓口とインターネットで、座席指定のチケットをお求めいただけます。招待券などは窓口からのみになります。

上野昂志の
醉余の一滴
(続) vol.6

女優・岡田茉莉子

1951年6月、疎開先の新潟から東京に帰ってきた田中鞠子は、東宝のプロデューサーだった叔父の勧めで、東宝演劇研究所に入る。そして、入所後20日足らずで、成瀬巳喜男監督の『舞姫』に出演することになる。谷崎潤一郎命名による岡田茉莉子として。この新人として異例のデビューは、18歳の彼女の日本人離れをした美貌によるものだろうが、彼女自身も周りも、あの岡田時彦の娘ゆえの抜擢と捉えていた。茉莉子自身は、それが重荷で、嫌でたまらず、女優を辞めたいと母に訴えたという。自分が自分でなくなる怖れと、それに対する抵抗、岡田茉莉子は、そこから出発した。

撮影所では、明るく振る舞い、その結果、物おじしない「アプレゲールのお嬢さん」と呼ばれるようになったが、それも演技。映画の中でも外でも、自分ではない自分がいて、それを、もう一人の自分が見ていると自覚したとき、岡田茉莉子は、女優になったのだろう。そんな彼女を、世間が、紛れもないスターとして認めたのは、『芸者 小夏』だ。それがヒットしたことにより満足したものの、以後、それに類するような役が続くのに、彼女は飽き足りない想いを抱く。そして、『浮雲』で、高峰秀子も森雅之も、役柄を超えた彼ら自身を表現していることに気付き、岡田茉莉子自身を表現したいと思う。

1957年、岡田茉莉子は、自ら撮影所長に申し出でフリーになる。松竹大船で『土砂降り』を撮ったあと、従来の受け身の女性像を一新するようなメロドラマの女性を演じるようになる。そんな彼女を、監督第1作に起用したいとシリオを送ったのが、吉田喜重だ。岡田は、出演を快諾したが、別な撮影と重なって出来なかった。だが、『ろくでなし』に感嘆した彼女は、岡田茉莉子百本記念映画の監督として吉田喜重を指名する。フリーになった吉田と行を共にして以後、岡田茉莉子は、さらに自立した女性像を表現していく。岡田茉莉子は、常に、自ら新しい道を切り開いていく女優なのだ。

●上映スケジュールは、やむを得ない事情により変更される場合もあります



~7/14(金)

追悼ジャン=リュック・ゴダール映画祭

2022年9月13日、自らこの世を去ったゴダール監督。『ヌーヴェル・ヴァーグ』の旗手として、時代の寵兒として疾走し続けた映画監督。最もゴダールがゴダールであった60年代と80年代を中心には多くスクリーンでは観ることのできない全9作を追悼上映。ゴダール=映画は生き続ける。

『小さな兵隊』1960年/88分/ミシェル・シユボール、アンナ・カリーナ ★
アルジェリア戦争を題材とした『勝手にいやがれ』に続く長編第二作

『カラビニエ』1963年/80分/マリノ・マゼ、アルベル・ジエス ★
戦争に翻弄される無知な若者2人の運命を寓話的に描いた風刺劇

『はなればなれに』1964年/96分/クロード・ブラッスル、アンナ・カリーナ ★
アメリカの犯罪小説を原作に、2人の男と1人の女が織り成すメロドラマの傑作

『ウイークエンド』1967年/104分/ジャン・ヤンヌ、ミレーユ・ダルク ★
週末に旅行へ出かけた夫婦が狂気の渦へ…。交通渋滞の移動撮影は圧巻!

『パッション』1982年/88分/イザベル・ユペール、ミシェル・ビコリ、ハンナ・シグラ ★
芸術映画の製作に奔走する撮影隊を描く、いかにもゴダールならではの問題作

『カルメンという名の女』1983年/85分/マルシュカ・デートメルス、ゴダール ★
第40回ベネチア国際映画祭金獅子賞に輝くゴダール流“カルメン映画”

『ゴダールのマリア』1985年/107分/ミリアム・ルーセル、ジュリエット・ビノシュ
聖母マリアの処女懷胎とキリストの誕生を現代に置き換えて描く異色作

『ゴダールの探偵』1985年/98分/ジャン=エピール・レオ、ナタリー・パイ
カサヴェテス、イーストウッド、ウルマーに掛けた犯罪群像喜劇

『ゴダールの決別』1993年/84分/ジェラール・ドバルド、ロラン・マスリア
夫にギリシャ神話中のゼウス神が乗り移る? 最も美しいゴダール映画の一本

6/25(日) 15:05 ゴダールのマリア 17:15 はなればなれに 19:15 ウイークエンド

26(月) 14:45 バッション 16:35 ゴダールのマリア 18:45 はなればなれに

27(火) 14:45 ウイークエンド 16:50 はなればなれに 18:45 バッション

28(水) 14:45 はなればなれに 16:45 バッション 18:35 ウイークエンド

29(木) 14:45 はなればなれに 16:40 ウイークエンド 18:45 ゴダールのマリア

30(金) 14:45 ゴダールのマリア 16:55 バッション 18:45 はなればなれに

7/1(土) 16:00 小さな兵隊 17:50 カラビニエ [同時上映] (2作品共)

2(日) 16:00 カルメンという名の女 17:45 小さな兵隊 18:45 はなればなれに

3(月) 16:00 小さな兵隊 17:50 カラビニエ 18:45 はなればなれに

4(火) 16:00 カラビニエ 17:40 小さな兵隊 1PM ワン・アリカンムービー

5(水) 16:00 カラビニエ 17:50 カラビニエ 1PM ワン・アリカンムービー

6(木) 16:00 カラビニエ 17:45 カルメンという名の女 1PM ワン・アリカンムービー

7(金) 16:00 小さな兵隊 17:45 カルメンという名の女 1PM ワン・アリカンムービー

8(土) 10:50 ゴダールの探偵 12:55 ゴダールの決別 14:40 小さな兵隊

9(日) 10:50 カラビニエ 12:35 ゴダールの探偵 14:40 ゴダールの決別

10(月) 11:40 1PM ワン・アリカンムービー 13:35 ニューヨークの中国女

11(火) 10:50 カルメンという名の女 12:35 1PM ワン・アリカンムービー

12(水) 10:50 ゴダールの決別 12:35 ゴダールの探偵 14:40 1PM ワン・アリカンムービー

13(木) 10:50 ゴダールの探偵 12:55 ゴダールの決別 14:40 1PM ワン・アリカンムービー

14(金) 10:50 1PM ワン・アリカンムービー 12:40 ゴダールの探偵 14:45 ゴダールの決別

7/1(土) ~ 28(金)

柳田國男の名著「遠野物語」に着想を得た、唯一無二の物語

山女 福永壮志監督作品『リベラリの白い血』『アイヌモシリ』

2022年/日本・アメリカ/100分 監督・脚本:福永壮志 脚本:長田育恵
出演:山田杏奈、永瀬正敏、森山未来、二ノ宮隆太郎、三浦透子、山中崇、川瀬陽太、白川和子
大飢餓に覆われた18世紀末、東北の寒村。先代の罪を負った家の・凜(山田)は、人々から蔑まれながらも逞しき生きていた。ある日、父親(永瀬)が村中を掃るがす事件を起こす。父の罪を被り、自ら村を去る凜。禁じられた早池峰山奥へ足を踏み入れたことから、凜の運命は大きく動き出す…。貧困と格差社会にあって、一人の女性が自らの意志で人生を選び取るまでを描く傑作!!

~7/21(金)

同じ下着を着るふたりの女

2021年/韓国/139分 監督・脚本:キム・セイン 出演:イム・ジホ、ヤン・マルボク

互いを完全に愛することも憎むこともできない母娘の複雑な心情を韓国的新鋭キム・セインが真摯に描く話題作。鬼気迫る親子の衝突と、ままならない人間同士の悲哀、ふたりの複雑な感情など、近年の韓国フェミニズムやシスター・フード映画の“次”をいく新たなアリズムとして世界の映画祭で絶賛! 2021年釜山国際映画祭で5部門受賞!!

~7/7(金) 2023年ベルリン国際映画祭金熊賞

アダマン号に乗って

2023年/フランス・日本/109分 監督:ニコラ・フィリペール

パリのセーヌ川に浮かぶディケアセンターの船「アダマン号」にカメラを向けて了傑作ドキュメンタリー。

〈ご案内〉7月1日以降は、一部隔席を廃止し、全席開放とさせていただきます。

◎ただし、引き続き新型コロナウイルス感染症対策は継続いたします○

8/5(土) ~『私はどこから来たのか、何者なのか、どこへ行くのか、そしてあなたは…』

予告 戦争特集『ひろしま』『野火』『東京裁判』『BANZAIFILMS』『花子とキメラ』『豊宇兄弟』他

8/12(土) ~『ミャンマー・ダイアリー』 8/12(土) ~1周忌追悼特集 映画監督・小林政広

9/2~『福田村事件』 ウルケイ・オッティンガ『ベルリン三部作』&優秀映画鑑賞会 黒澤明監督特集

編集後記 当館ロビーの壁面に来館してくださったゲストの皆さんにサインをお願いしている。しかし、その計画が相次いでいる。昨年夏の小林政広監督、11月に大森一樹監督と崔洋一監督、12月には吉田喜重監督、そして今年2月の山根貞男さん、さらに6月11日には中島貞夫監督も亡くなった。山根さんと中島監督が京都映画祭でエネルギーに奔走されていた姿が忘れられない。時代劇の火を絶やす! 中島監督のその思いは、私たちも引き継ぎたい。そして、サインに恥しないよう取り組んでいきたい。

★シネクラブ新会員制度 ○年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引/会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネクラブ合評会(毎月第2曜日開催)

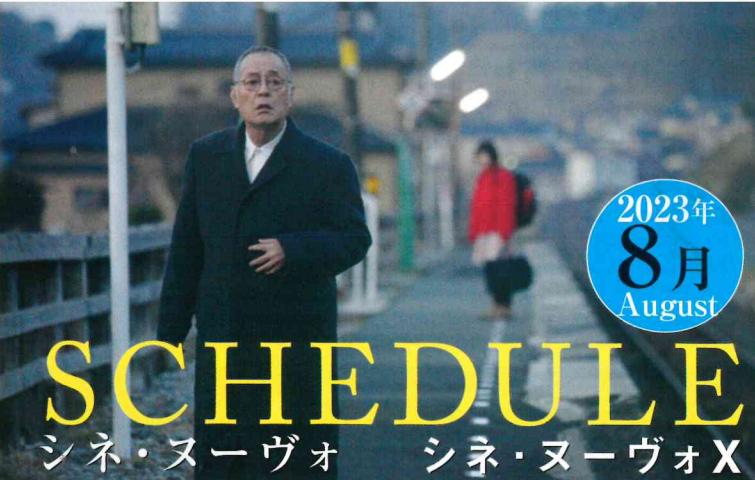
●7/9(日) am.13:00~

[場所] カフェ アッコリエンテ ※当館より1分

シネ・ヌーヴェオ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

シネ・ヌーヴェオ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駟」徒歩3分

シネ・ヌ



2023年
8月
August

SCHEDULE

シネ・ヌーヴォ シネ・ヌーヴォX

8/19(土)～25(金)

一周忌 追悼特集 映画監督・小林政広

フォーク歌手、脚本家を経て、四十歳を過ぎて念願の監督となり、日本人初の三年連続カンヌ国際映画祭出品、ロカルノ国際映画祭四冠受賞など、国内外で活躍した映画監督・小林政広。没後一年、小林政広監督追悼特集を開催!

●毎月1日は映画サービスデー…1200円均一 ●水曜サービスデー…どなたも1200円均一
●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く) ※ご鑑賞の1週間

※上記表中 ▲は初日、■は最終日の表示マーク

上野昂志の
醉余の一滴
〈続〉 vol.7

岡田茉莉子・再び

関西圏の映画ファンは、恵まれているよな!
シネ・ヌーヴォで、これだけ充実した岡田茉莉子の特集を見られるのだから。わたしだって、暇とお金があれば、一ヶ月ぐらい大阪に泊まり込んで、九条に日参したいくらいだ。というのも、見ていない作品がずらりと並んでいるのだから。そもそも、岡田茉莉子が東宝でデビューし、『芸者小夏』でスター街道を歩き始めた頃、当方は中坊で、『白熱』のジェームズ・キャグニー(監督:ラオール・ウォルシュ)に痺れて、ギャング映画ばかり追いかけていたから、街の電柱に貼られていた『芸者小夏』のポスターなど見ても、ケツとそっぽを向いていたのだ。

そんな次第で、東宝時代の岡田茉莉子で鮮やかに憶えているのは、稻垣浩監督の『宮本武蔵』と、その続編『続・宮本武蔵 一乗寺の決闘』で彼女が演じた朱美ぐらいなのだ。いつも、袖につけた鈴を鳴らして登場する真理子・朱美のコケティッシュで可愛かったこと! 武蔵の想い人、おつうを演じた八千草薫のほうはからつきし記憶がないのに。冗談はともかく、これは、岡田茉莉子自身が言っていることだが、東宝時代の彼女は、不良少女、芸者、水商売の女という良妻賢母から外れた、蔭のある女が多かった。それだけに、演技力が求められたのだろうが、その成果は、『浮雲』などに端的に現れている。

岡田茉莉子の松竹時代は、中村登監督の『土砂降り』から始まる(専属契約はもっと後だが)。松竹のメロドラマといえば、戦前の『愛染かつら』から戦後の『君の名は』まで、運命的なずれ違いがベースだったが、これは、それと大きく違う。岡田演じるヒロインは、運命に流される受け身の女とは異なる姿を見せるのだ。ここから、新しいメロドラマが始まる。それは、岡田茉莉子が、自身の百本記念映画の監督として、新人の吉田喜重を指名し、原作を大幅に書き換えた吉田のシナリオによって作られた『秋津温泉』で、メロドラマの骨格を踏まえた反メロドラマとして結実するであろう。



シネ・ヌーヴォのこれからに向けて!

シネ・ヌーヴォは1997年に大阪・西区の九条にオープン、今年で26周年を迎めました。特集上映とロードショーを2本柱に多様な映画を上映してきました。コロナ禍、デジタル映写機の買替えなどによる経営状態の悪化と、ミニシアターへの逆風が吹く中、これからも当館を存続し、新たな作品を上映していくために、ご購入とご寄付を皆さんに呼びかけさせていただく所存です。皆さまのご支援、ご協力を心にお願いいたします。

◎募集金額目標:800万円

◎募集期間:2023年7月15日(土)~8月31日(木) ※募集締め切りをもって発注となりますので、発送は9月下旬以降を予定しています。

<支援グッズ>…制作費・送料を差し引いた金額がシネ・ヌーヴォへのご支援となります。

¥3,000(税・送料込み)コース ¥6,000(税・送料込み)コース ③

①オリジナルボールペン+缶バッジ
②シネ・ヌーヴォ20th記念デザイン復刻版トートバッグ
③東學さんデザイントートバッグ
④吉田由利香さんデザインTシャツ ★デザインおまかせ!

④吉田利香さんサインTシャツ ★サインお楽しみに!
⑤「OUR CINEMAS」(小田香監督)Tシャツ

⑥オリジナルおちょこセット(オリジナル巾着付き)
オリジナルおちょこと巾着袋のセット

※デザイン・仕様が若干変更する可能性があります。

A row of five small cylindrical containers with labels, likely for different types of tea or coffee.

[ご購入はこちら](#)

ご寄付…ほぼ全額がシネ・ヌーヴォへのご支援となります

BASE

お申し込みすべての方にお礼状をお送りします。(1000円でご鑑賞いただけるクーポン付き)

~8/18(金) 映画女優・岡田茉莉子

■この後の上映作品『花のうず潮』/58/松竹/大庭秀雄/大木実、佐田啓二『バナナ』/60/松竹/渋谷実/津川雅彦、尾上松緑『女舞』/61/松竹/大庭秀雄/佐田啓二、三浦信子『結婚式・結婚式』/63/松竹/中村登/伊志井寛、田中綱代『喜劇 各駅停車』/65/東京映画/井上男、森繁久彌、三木のり平『水で書かれた物語』/65/中日新聞社/吉田喜重/浅丘りく子、入川保雄『女のみづみ』/66/現代映画社/吉田喜重/早川保、露口『誰が嘘をついで殺す』/66/松竹/上山梅次/吉村実子、加東大介『情炎』/67/現代映画社/吉田喜重/木村功、高橋悦史『炎と女』/67/現代映画社/吉田喜重/木村功、小川真由美『樹氷のよろめき』/68/現代映画社/木村功、越川幸雄『戦いすんて白が暮れて』/70/松竹/長谷和夫/川崎敬三、入山ひとみ『エロス+虐殺』/70/現代映画社/細川俊之、樺木裕子『煉獄エロイカ』/70/現代映画社/ATC/吉田喜重/鶴田浩造、木村菜穂『喜劇 命のお値段』/71/松竹/前田一郎/ラルキーネ、財津一郎『告白的女優論』/71/現代映画社/吉田喜重/浅丘りく子、有馬裕子『黒の奔流』/72/松竹/渡邊祐介/山崎努、松坂慶子『東河』/76/松竹/斎藤耕一/中村雅俊、五十嵐順子『鏡の女たち』/2003/現代映画社ほか/吉田喜重/田中好子、一色紗英 ※製作年・会社・監督/共演者

7/29(土)	夏休みの映画館	15:40 女舞	17:40 バナナ	19:30 独裁者たちのとき
30(日)		15:40 花のうず潮	17:35 結婚式・結婚式	19:30 太陽
31(月)	11:45 結婚式・結婚式	13:40 花のうず潮	15:35 女のみづみ	17:35 喜劇 各駅停車
8/1(火)	11:45 女のみづみ	13:45 喜劇 各駅停車	15:40 炎と女	19:30 牛座牛
2(水)	11:45 花のうず潮	13:40 鹿鳴街お嬢さま	15:35 喜劇 各駅停車	17:30 炎と女
3(木)	11:45 独裁者たちのとき	13:45 牛座牛	15:35 花のうず潮	17:30 独裁者たちのとき
4(金)	14:05 独裁者たちのとき	15:55 鹿鳴街お嬢さま	17:30 女のみづみ	19:30 鹿鳴街お嬢さま
5(土)	10:00 喜劇 各駅停車	11:55 女のみづみ	15:55 炎と女	19:45 女のみづみ
6(日)	10:00 鹿鳴街お嬢さま	13:55 情炎	15:55 炎と女	17:50 鹿鳴街お嬢さま
7(月)	10:00 炎と女	13:50 黒の奔流	15:45 情炎	17:40 炎と女
8(火)	9:40 冷河	13:35 黒の奔流	15:30 水で書かれた物語	17:50 喜劇 命のお値段
9(水)	9:40 情炎	14:00 水で書かれた物語	15:50 黒の奔流	17:40 樹氷のよろめき
10(木)	10:00 喜劇 命のお値段	15:00 水で書かれた物語	16:10 冷河	18:10 黒の奔流
11(金)	9:30 黒の奔流	11:20 鏡の女たち	15:45 水で書かれた物語	18:05 冷河
12(土)		14:00 鏡の女たち	16:25 告白的女優論	20:45 水で書かれた物語
13(日)	12:30 戦いすんて白が暮れて	12:40 エロス+虐殺	17:25 煉獄エロイカ	19:45 告白的女優論
14(月)	12:30 告白的女優論	14:45 樹氷のよろめき	19:45 エロス+虐殺	—
15(火)	12:30 小林正樹監督『東京裁判』特別上映	17:40 戦いすんて白が暮れて	19:30 エロス+虐殺	—
16(水)	11:30 煉獄エロイカ	13:45 告白的女優論	18:40 戦いすんて白が暮れて	20:25 煉獄エロイカ
17(木)	12:30 エロス+虐殺	15:35 煉獄エロイカ	17:55 告白的女優論	—
18(金)	15:00 エロス+虐殺	18:05 煉獄エロイカ	20:25 戦いすんて白が暮れて	—

7/29(土)・30(日) & 8/26(土)・27(日) 各地のミニシアター共同企画

夏休みの映画館

一般1500円、シニア1200円、会員1100円、大学生1000円、高校生以下500円 一般1人+子ども1人1500円(二人で)

7/29(土)『ロイドの要心無用』『迷惑防止』

弁士:森くみさん ピアノ演奏:鳥飼りようさん ★上映後、映写体験

7/30(日)世界のアニメーション作品集

山村浩二監督『ホッキョクマ すっごひどい』『どもの形而上学』ほか

8/26(土)・27(日)『ルパン三世 カリオストロの城』『音のない世界で』『音のない世界で』『音のない世界で』

1979年/日本/100分 監督:宮崎駿 1992年/仏/99分 監督:ニコラ・フィリベル

8/5(土)～<戦争映画特集2023>

ひろしま

1953年/日本/109分

監督:闇田秀雄

出演:岡田英次、月丘夢路、加藤嘉、山田五十鈴

被爆から8年、広島で被爆者も含む9万人のエキストラスターが出演し製作された反戦映画!!

野火

2014年/日本/87分

監督・脚本:塙本晋也 原作:大岡昇平

出演:塙本晋也、リリー・フランキー、中村達也、森健作

戦後70年の年に塙本晋也監督が描く戦場の眞実。今年も終戦の日をはさみ上映。戦争をやめよう!

東京裁判

1983～2018年/日本/277分(途中休憩あり)

監督・脚本:小林正樹 音楽:武満徹 ナレーター:佐藤慶

1945年8月15日に降伏した日本の戦後の運命を決定づけた

東京裁判の全貌を描く小林正樹監督による大傑作。今年も特別上映!

~8/12(金)

70歳のチア・リーダー

2022年/スウェーデン/アメリカ/85分

監督:マリア・ルーフード他

シニア女性だけで活動する実在のチアダンスチームの挑戦と友情を描く驚きのドキュメンタリー。

7/29(土)～8/4(金)

[貸館企画] 倉敷物語はちまん

2022年/103分

監督・原作・脚本:三城誠子 出演:秋田留奈、三宅妃紀、鈴音

明治から昭和、倉敷の街が大きく変貌を遂げる時代に生きた倉敷のおでんば、はちまんの感動物語。

8/5(土)～18(金) <BANZAI FILMS FESTIVAL>

大阪を拠点にした映画制作集団の新作3本!!

花子とキメラ

2023年/120分

監督・脚本・編集:鬼村悠希 出演:上木桃、奥井隆一

ひきこもりバンドマンが地球を救う!?

豊宇兄弟

2023年/120分

監督・脚本:上木桃 出演:松田悠、奥井隆一

江戸時代が舞台の驚愕の時代劇!!

ただいま

2023年/60分

監督:鬼村悠希 出演:泉菜里、KENGO

「猫奇ピンク」の代表作の映画化。

8/19(土)～9/1(金)

ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい

2023年/109分 監督:金子由里奈 出演:細田佳央太、胸井蓮

大前輩の原作を金子由里奈が監督した商業デビューアート。公開記念で前作『眠る虫』も同時上映!!

8/26(土)～

E0

2022年/ポーランド/イタリア/88分

監督・脚本:イエジー・スコリモフスキ

出演:サンドラ・マルスカ、ロレンツォ・ブルゾ、イザベラ・プレッソンの名作『パルタザールどこへ行く』をスコリモフスキ現代的に解釈し監督した不条理劇。

編集後記

赤字基調の当館にとって毎日上映を続けていくことが精一杯でした。そんな中、コロナ禍による負債、そして新たなデジタル映写機の導入工事費用があまりに大きな負担となっていました。この度の、【シネ・ヌーヴォ】のこれからに向けて!「シネ・ヌーヴォFROM NOW ONプロジェクト】は、まさにこれからも存続し上映し続けるために、皆さまにご支援をお願いするものです。私たちの自助努力だけでは、これら外因から生き残るのは厳しいと判断しました。あまりの物価上昇と息苦しさがいっぱいの現状で、皆さまにさらにご負担をお願いすることを申し訳なく思っています。ただ、今回のご支援の様々な品目は、スタッフみんなで考え出し、デザイナーの皆さんとの協力もいただき、少しでも良かったと思っていただけるグッズを多数ご用意いたしました。この危機を乗り越え、皆さまに素晴らしい映画をこれからもご提供してまいりたいと思っております。「これからに向けて」どうぞよろしくお願いします。

★シネクラブ新会員制度

◎年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引/会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。

10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネクラブ合評会(毎月第2曜日開催)

●8/13(日) am.13:00～

【場所】喫茶ケルン ※当館より1分

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駟」徒歩3分

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央



SCHEDULE

シネ・ヌーヴォ シネ・ヌーヴォX

9/16(土)~10/6(金) 台湾映画新発見!エンターテインメント映画の系譜 **台湾巨匠傑作選2023**

劇場初公開『少年』、
アジアの巨匠キン・フー監督の劇場未公開2作、
ホウ・シャオシェン監督、ツァイ・ミンリヤン監督の青春映画、
そしてドキュメンタリー作品まで
エンターテインメント映画の系譜13作品を一挙上映!



◆台湾ニューシネマの原点から現在までの台湾映画の魅力を伝える13作品一挙上映。武侠映画の神様＆アジア映画の巨匠キン・リー（胡金銓）監督の劇場未公開作『空山靈雨』『大輪廻』と『中山傳奇』の3作品、台湾を代表する世界的映画監督ホウ・シャオシェン（侯孝賢）と脚本家のチュウ・ティエンウェン（朱天文）がはじめてタッグを組んだ、台湾ニューシネマの原点ともいえる幻の作品『少年』リマスター版の特別上映、日本でホウ・シャオシェンの存在を知らしめた『童年往事 時の流れ』『風櫃の少年』など、そしてツアイ・ミンリヤン監督衝撃のデビュー作『青春神話』、『1秒先の彼女』のチェン・ユーション監督による傑作コメディ『熱帶魚』『ラブ ゴーゴー』の日本最終上映。その他台湾映画人たちの仕事を描くドキュメンタリー作品を特集上映。まださだ熱い夏はここである！

上映作品『少年』[デジタルリマスター版]1983年/94分/監督・撮影:チェン・ケンホウ/原作・脚本:チュウ・ティエンウェン/プロデューサー・脚本:ホウ・シャオシェン/第20回金馬獎最優秀作品賞他(上映回数制限に付き1回上映のみ)『空山靈雨』[デジタル修復版]1979年/121分/監督:キン・フー/第16回金馬獎最優秀監督賞他『大輪迴』[デジタル修復版]1983年/105分/監督:キン・フー、リー・シン、パイ・ジンルイ/オムニバス作品『中山傳奇』[デジタル修復・完全全長版]1979年/192分/監督:キン・フー/第73回ネチャ映画祭ク拉斯シック部門・4K修復版『アーカイブ・タイム』2019年/63分/ドキュメンタリー/監督:ルーベンチー『HMH: 侯孝賢』[デジタルリマスター版]1997年/92分/ドキュメンタリー/監督:オリヴァ・エ/アサイヤス/出演:ホウ・シャオシェン『擬音 A FOLEY ARTIST』2017年/100分/監督:ワン・ワントン『風が轟る』[デジタルリマスター版]1981年/92分/監督:ホウ・シャオシェン『童年往事 時の流れ』1985年/138分/監督:ホウ・シャオシェン/第36回ベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞『風櫃の少年』1983年/101分/監督:ホウ・シャオシェン/第6回ナント三大陸映画祭グランプリ『青春神話』1992年/106分/監督:ツイ・ミンヤン/第6回東京国際映画祭ヤングシネマ部門プロンズ賞『熱帶魚』[デジタルリストア版]1995年/108分/監督:チエン・ユーシン/第48回コバルト国際映画祭賈寶珠(日本最終上映)『ラブ・ゴーゴー』1997年/113分/監督:チエン・ユーシン/日本最終上映]

●毎月1日は映画サービスデー…1200円均一 ●水曜サービスデー…どなたも1200円均一

●毎週月曜日はペアサービスデー！お二人で2400円(祝祭日は除く)

●毎週月曜日は「アーティスト・セミナー」10:30~11:20(料金100円)(祝祭日は除く)

※上記表由 **■** は初日 **■** は最終日の表示マーク

※上記表中／は初日、／は最終日の表示マーク

上野昂志の
醉余の一滴
〈続〉 vol.8

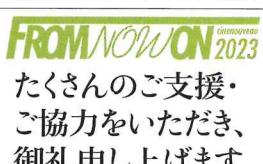
キン・ラート映画！
胸躍る、

上野昂志(批評家・映画評論家)

映画は、アクション。それを文字通り体現しているのが、キン・マー（胡金銓）監督の映画だ。そのアクションで特徴的なのは、宙を飛ぶことだ。香港映画でお馴染みのケンマー的アクションもあるが、何よりも眼を奪うのは、地上から高い木の枝に舞い上がるかと思えば、逆さまになって落下する、空飛ぶアクションなのだ。しかも、それをCGなどではなく、トランポリンを使って実際にやらせるのが、キン・マー映画である。それから思えば、CGは、映画を堕落させたのではないか、と思う。躍動する肉体、それも軽やかに舞うように見せる。思わず、ハーオーと、中国語で拍手したくなる。

そして、そんなキン・リー映画に欠かせぬのが、『侠女』以来、彼の作品のミューズとも呼ぶべきシュー・フォン(徐楓)である。父は、讒言によって殺され、遺児の彼女も、宦官の秘密組織に負われる身、それが激しく鬪う。その姿の美しいこと!まさに侠女の名前にふさわしい。『空山靈雨』では、一転して名代の女泥棒を演じているが、その身のこなし、闘いぶりは美事というしかない。これらの作品では、一片の笑顔も見せない彼女だが、その名にふさわしい傳奇的な物語『山中傳奇』では、男心を蕩かすような笑顔を見せる。実は、そんな彼女の正体を知れば、足がすぐむのだが。

シュー・フォンのような女優を中心に、映画の魅力、ここにあり、と言いたくなるような傑作を撮ったキン・マー監督だが、面白いことに、映画をあまり観てこなかったという。幼い頃に観た中国の恐怖映画が怖くて、観ないようになったというのだ。影響を受けたのは、むしろ京劇だという。そういえば、彼のアクションには、京劇の立ち回りを思わせるところがある。宙を飛ぶのは、彼の工夫であろうが。それと、アクションとは別に彼の映画には、何故か、仏教が絡む話が少なくない。それも踏まえ、キン・マー監督が、どのような世界観をもって映画作りをしたか、改めて考える必要がある。



シキ：ニューヴィーの二わからに向けて

◎募集金額目標:800万円

当館の存続とこれからに向けて開始した「シネ・ヌーヴォFROM NOW ONプロジェクト2023」。7/15のスタート以来、8月中旬で目標金額に達成することができました。これもひとえに皆さま方の熱いご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。ご購入いただきましたグッズなどは、9月下旬から皆さまにお届けさせていただきます。今回の危機をこのご支援で脱することができます。赤字基調の当館、これからのご支援につきましては、今後の劇場運営の備えに当てさせていただきます。引き続き、8/31までどうぞよろしくお願ひいたします。

~9/8(金) ジョン・カサヴェテス…1929/12/9 - 1989/2/3

ジョン・カサヴェテス レトロスペクティブ リブリーズ

現代映画に多大なる影響を与える続ける孤高の映画作家ジョン・カサヴェテス。

愛を、喪失を、人生を細やかに捉え、観る者の感情を揺さぶる至高の6作品。

アメリカの影

1959年/82分/ベン・カラザース、レリア・ゴルドー

MYマンハッタンが舞台のカサヴェテスのデビュー作にしてインディペンデント映画の金字塔。

フェイシズ

1968年/130分/ジョン・マーレイ、ジーナ・ローランズ

男女の愛の葛藤を描いたカサヴェテスのその後の映画の原点となった監督第2作。

こわれゆく女

1974年/147分/ジーナ・ローランズ、ピーター・フォーク

壊れそうな家庭を繋ぎとめようとする夫婦愛を描いたカサヴェテスの代表作。

チャイニーズ・ブッキーを殺した男

1976年/135分/ベン・ギャザラ、ミード・ロバーツ

暗黒街のマフィア、ストリッパー、ナイトクラブ、犯罪。カサヴェテスが描くフィルム・ノワール。

オープニング・ナイト

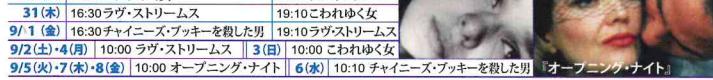
1977年/144分/ジーナ・ローランズ、ジョン・カサヴェテス

カサヴェテスと妻ジーナ・ローランズが唯一「夫婦役」として共演した伝説的傑作。

ラヴ・ストリームス

1984年/141分/ジーナ・ローランズ、ジョン・カサヴェテス

「愛、孤独、家族」を主題にしたカサヴェテス映画の集大成作。ベルリン国際映画祭金熊賞。



9/2(土)～ 関東大震災から100年

福田村事件 森達也監督作品

★9/3(日)森達也監督

舞台あいさつ

2023年/日本/137分 脚本: 佐伯俊道、井上淳一、荒井晴美 撮影: 桑原正

出演: 井浦新、田中麗奈、永山瑛太、東出昌大、コムアイ、松浦佑也、向井理香、柄本明

1923年9月1日に発生した関東大震災から5日後、千葉県福田村で

実際に起きた行商団9人の虐殺事件。村人たちはなぜ彼らを殺したのか。『A』『A2』などドキュメンタリーを主戦場にしてきた森達也が、封印されてきた実話をもとに描く、渾身の群像劇!

8/26(土)～9/15(金)

メーサーロシュ・マールタ監督特集

イザベル・ユペール、アンナ・カリーナら名だたる俳優を魅了し、アニエス・ヴァルダがオールタイム・ベストのひとつとしてその作品を挙げた、ハンガリーの至宝メーサーロシュ・マールタの初期傑作群、日本上陸!!

『ドント・クライ プリティ・ガールズ!』1970年/ハンガリー(以下同)/89分

『アダプション』ある母と娘の記録』1975年/88分/ベルリン国際映画祭 金熊賞

『ナイン・マンズ』1976年/94分/カンヌ国際映画祭 国際映画批評家連盟賞

『マリとヨリ』1977年/98分『ナリの女、ひとつの宿命』1980年/105分

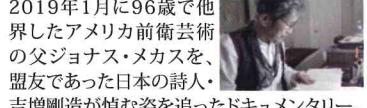
9/16(土)～ ジョナス・メカス…1922 - 2019

眩暈 VERTIGO

2022年/117分

監督・編集: 井上春生

出演: 吉瀬健 音語り: 七木奏音 主題曲: 佐野元春



9/23(土)～★9/23(土)・24(日) 八十川監督

出演者 舞台あいさつ

2023年/103分

監督: 八十川勝 原案: 陰山武史

出演: 高原悠成、前田聖成、岸本ゆめか、竹中楓香

映画の完成を待たずに亡くなった、筋ジストロフィー患者の陰山武史さんの自伝を映画化。逆境を受け入れつつも、友情や勇気、希望を描く感動の物語。

9/18(月・祝)18:30 <映画批評月間2023イベント>『レア・セドウのいつわり』2021年/103分

監督・脚本: アルノー・デプレシャン 出演: レア・セドウ

アルノー・デプレシャン監督トークショー 来館!!

2000円均一

8/26(土)～9/1(金) [特別料金]

中島みゆき 劇場版 ライヴ・ヒストリー1&2

2022年/[1]83分/[2]90分 出演: 中島みゆき

チケット入手困難の中島みゆきのライヴ!「糸」「時代」などの【1】、「地上の星」などの【2】を同時公開!

8/26(土)～9/1(金)

メルビンとハワード

1980年/アメリカ/95分 監督: ジョナサン・デミ

大富豪ハワード・ヒューズの遺産相続人メルビンの

体験談を描くジョナサン・デミ監督の劇場未公開作。

8/26(土)～9/8(金)

EO

2022年/ポーランド・イタリア/88分

監督・脚本: イエジー・スコリモフスキ

出演: サンドラ・ジマルスカ、ロレンツォ・ズルゾ、イザベル・ユペール

プレッセンの名作『バルタザールどこへ行く』をスコ

リモフスキが現代的に解釈し監督した不条理劇。

9/2(土)～9/15(金)

青いカフタンの仕立て屋

2022年/フランス・モロッコほか/122分

監督: マリヤム・トゥザニ

『モロッコ、彼女たちの朝』

の監督最新作。民族衣装カフタンの仕立て屋夫婦の、愛と決断の物語。

9/23(土)～『小説家の映画』2022年/監督: ホン・サン

9/30(土)～【チャン・リュル監督「福岡」三部作一挙上映】

『柳川』2021年/『福岡』2019年/『郡山』2018年 10/7(土)～【ベトナム映画祭2023】

10/14(土)～『月』2023年/144分/監督・脚本: 石井裕也/原作: 道見庸/出演: 宮沢りえ、磯村勇斗、二階堂富美、オダギリジョー

障害者殺傷事件をモチーフにした道見庸原作『月』を、スタートスの故・河村光庸プロデューサーが企画、石井裕也監督が

映画化した問題作。ただならぬ覚悟で俳優陣が結集。2023年10月、世に問うべき大問題作が放たれる!!

10/14(土)～『華の季節』2023年 10/21(土)～【ライナー・ヴェルナー・ファス宾ダ監督特集】

10/28(土)～『マルセル・マルゾー 沈黙のアート』2022年/監督: マウリツィウス・スタークル・ドルクス

その後～『草原に抱かれて』【インド大映画祭】『きのう生まれたわけじゃない』『天国か、ここ?』

★シネクラ布新会員制度

◎年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引/会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。

10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネクラ布合評会(毎月第2曜日開催)

9/10(日) am.13:00～

【場所】喫茶ケルン ※当館より1分

★シネ・ヌーヴォ SNS

X(旧twitter)

Facebook

Instagram

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

9/2(土)～29(金) ウルリケ・オッティンガー…1942/6/6-

ウルリケ・オッティンガー[ベルリン三部作]

ヨーロッパを中心に大規模なレトロスペクティブが開催されるなど世界的再評価の機運が高まるドイツの映画作家ウルリケ・オッティンガー。その作品は、フェミニズム映画やクィア映画の文脈で論じられるなど、從来の様々な規範を越えるが先進性が再評価されている。冷戦下、ベルリンの壁に分断された時代に作られた「ベルリン三部作」は、生きる力と豊かで鋭い感性、見ることの喜びへと誘うユーモアと美意識に溢れている。製作から40余りの時を超えて、ついに映画館のスクリーンに登場する!!

★9/2(土)15:20の回、

渋谷吾也さん(東京国際大学教授)トーク

飲むために生き、飲みながら生きる、酒飲みの人生。ファスピンドー、リチャード・リンクレイターが絶賛!

フリーク・オルランド

1981年/西ドイツ/カラー/127分

ヴァージニア・ウルフの小説を奇抜に翻案。5つのエピソードで描かれる「小さな世界劇場」。

タブロイド紙が映したドリアン・グレイ

1984年/西ドイツ/カラー/151分

デルフィーヌ・セイリング出演。パロックで、デカダンスで、ダイスティックな独自の世界観!

9/9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)
19:25 ①	20:05 ②	18:50 ③	19:15 ①	18:00 ②	17:55 ①	16:45 ③	16:25 —	16:45 —	16:45 —	16:45 —	16:45 —	10:20 ②	10:00 —
9/2(土)～8(金)は 表面スケジュール欄参照。	20:40 ②	— —	20:25 ①	20:00 ③	23(土) 19:00 ③	24(日) 19:25 ①	27(水) 19:50 ①	28(木) 20:00 ③	29(金) 20:30 ①	— —	— —	— —	— —

9/9(土)～15(金) 森田芳光…1950/1/25 - 2011/12/20

森田芳光70祭 2023

★9/10(日)14:55トーク 宇多丸さん・三沢和子さん

2011年に61歳で亡くなった鬼才・森田芳光監督の70歳を記念して日本、海外で開催された「森田芳光70祭」。昨年11月の開催に続く第2弾。インディーズから日本映画を代表する名作まで、時代を駆け抜けた熟名匠の4本!

の・ようなもの 1981年/103分/監督・脚本: 森田芳光/出演: 秋吉久美子、伊藤克信、尾藤イサオ、でんでん

劇場用映画デビュー作。二つの物語が出会った風俗嬢…秋吉久美子の体当たりの演技!

シブがき隊 ポーイズ&ガールズ 1982年/78分/監督・脚本: 森田芳光/出演: 菊川裕美、本木雅弘、シブがき隊(菊川裕美、本木雅弘、布川敏和)主演の青春ドラマ。ひと夏の恋と冒險!

ときめきに死す 1984年/105分/監督・脚本: 森田芳光/出演: 沢田研二、杉浦直樹、樋口可南子、宮本信子

孤高のテロリストが宗教家暗殺に失敗するまでを描いた異色クライム・ムービー。

(ハル) 1996年/118分/監督・脚本: 森田芳光/出演: 深津絵里、内野聖陽、戸田菜穂、宮沢和史、竹下宏太郎

パソコン通信を題材にインターネット時代を予感した森田の先進性が光る異色ラブ・ストーリー。

9/9(土)	15:25 ポーイズ&ガールズ	17:00 (ハル)	—
10(日)	14:55 の・のようなもの(上映後)	宇多丸さん・三沢和子さんトーク	18:00 ときめきに死す
11(月)	14:50 (ハル)	17:10 ポーイズ&ガールズ	—
12(火)	14:25 ポーイズ&ガールズ	14:25 の・のようなもの	16:30 ときめきに死す
13(水)	12:45 (ハル)	15:05 ときめきに死す	17:10 の・のようなもの
14(木)	10:00 の・のようなもの	12:05 ときめきに死す	14:10 ポーイズ&ガールズ
15(金)	10:00 ときめきに死す	12:05 ポーイズ&ガールズ	15:45 (ハル)

9/9(土)～13(水) <2023優秀映画観賞会> 没後25年 黒澤明監督特集 1本500円

■上映作品 『生きる』1952年/143分/志村喬、小田切みき『隠し砦の三悪人』1958年/138分/三船敏郎、上原美佐

『用心棒』1961年/110分/三船敏郎、仲代達矢『天国と地獄』1963年/143分/三船敏郎、仲代達矢、香川京子、山崎努

9/9(土)	10:00 生ける	12:45 隠し砦の三悪人	—
10(日)	10:00 用心棒	12:10 天国と地獄	18:00 ときめきに死す
11(月)	10:00 隠し砦の三悪人	12:40 用心棒	—
12(火)	10:00 天国と地獄	—	16:30 ときめきに死す
13(水)	10:00 生ける	—	17:10 の・のようなもの

9/24(日) 14:00 2023年/165分 監督: 石井岳龍 石井岳龍監督や制作スタッフが

カメラの前に立ち、フィクションとドキュメントがせめぎ合いながら映画制作にせまる意欲作!!

9/2(土)～15(金) <自分革命映画闘争>と 石井岳龍監督トークショー

9/9(土)～22(金) アシスタンント

2019年/アメリカ/87分 監督・脚本: キティ・グリーン

出演: ジュリア・ガーナー、マシュー・マクファーリン

憧れの映画業界—新人アシスタンントの決定的な一日を描いた、静かな衝撃作。わたしは、どうする?

9/16(土)～ ★9/17(日) 三島有紀子監督 舞台あいさつ

併映: IMPERIAL 大阪堂島出入口

監督: 三島有紀子

コロナ禍「緊急事態宣言」下の街を描く<シネマヴェリテ>。併映に、三島有紀子監督の短編作品。

9/16(土)	11:00	★9/17(日) 三島有紀子監督	舞台あいさつ
9/17(日)	11:00	三島有紀子監督	舞台あいさつ
9/18(月)	11:00	IMPERIAL	大阪堂島出入口
9/19(火)	11:00	三島有紀子監督	大阪堂島出入口
9/20(水)	11:00	三島有紀子監督	地下鉄筋筋線

9/2(土)～ 9/22(金) 雜新派が創ったアート映画館

阪神なんば線「九条駅」6号出口から徒歩3分(アーケード商店街入り口に「マクドナルド」)を進み駐車場の手前を右折、次を左折、その次を右折

●大阪メトロ中央線「九条駅」6号出口徒歩3分(九条駅の案内地図をご参照下さい)

●阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分(九条駅の案内地図をご参照下さい)

●阪神なんば線「九条駅」6号出口徒歩3分(九条駅の案内地図をご参照下さい)

●阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分(九条駅の案内地図をご参照下さい)



SCHE DULE

シネ・ヌーヴォ シネ・ヌーヴォ X

10/14(土) ロードショー!!

石井裕也 監督作品
宮沢りえ 主演

2023年、世に問う
大問題作が放たれる——

『語られたくない事実』の内部へと深く潜り込み、
「事件」を生み出した社会的背景と
人間存在の深部に切り込んだ問題作。

2023年／144分／配給：スターサンズ／監督・脚本：石井裕也
原作：辺見庸『月』／企画・エグゼクティブプロデューサー：河村光庸
音楽：岩代太郎／撮影：鎌苅洋一／照明：長田達也／美術：原田満生
出演：宮沢りえ、磯村勇斗、二階堂ふみ、オダギリジョー、長井惠里、笠原秀幸、
大塚ちひか、板谷由夏、モロ師岡、鶴見辰吾、原日出子、高畑淳子



シネ・ヌーヴォ	9/23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
シネ・ヌーヴォ	難病飛行	10:00 (~11:50)	A	難病飛行	10:00 (~11:50)	A									D																					
	台湾 巨匠傑作選 2023	12:10 3000円均一	特 超 大 全 集 撮 獣	台湾 巨匠傑作選 2023	12:10 ~ 3-4作品上映	特 超 大 全 集 撮 獣																														
	ウルリケ・オッティエンガ ペレリン三部作	※9/25(月)休映	A	自分革命映画闘争 &石井岳龍監督特集	12:10 ~ 3-4作品上映	A									C	天国か、ここ? &いまおかしんじ監督特集																				
シネ・ヌーヴォ	星くずの片隅で	11:00 (~13:00)	B	小説家の映画	11:00 (~12:35)	B																														
	福田村事件	13:20 (~15:40)	B	柳川	13:00 (~14:35)	B																														
	東京組曲2020	16:00 (~17:55)	B	福岡	15:20 (~16:50)	B																														
	小説家の映画	18:15 (~19:50)	B	福田村事件	17:10 (~19:30)	B																														

●毎月1日は映画サービスデー! 1200円均一 ●水曜サービスデー...どなたも1200円均一

●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

※上記表中 ■は初日、▲は最終日の表示マーク

※ご鑑賞の1週間前から窓口とインターネットで、座席指定のチケットをお求めいただけます。招待券などは窓口からのみになります。

上野昂志の
酔余の一滴
(続) vol.9

石井裕也、頑張る。

わたしが石井裕也監督の作品に、双手を挙げて賛意を表明したのは、『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』(2017)である。

その前の話題作『舟を編む』は、大方の評判は良かったが、松田龍平の演技に、ちょっと首をかしげたので、その分、マイナスになった。

それに対して、『夜空は……』は、最果タヒの詩を、あそこまで見事な物語にした石井の脚本に感嘆したのと、石橋静河という新人を見事な女優として生かした監督としての手腕に脱帽した。もちろん、相手を務めた池松壮亮、それに、過酷な現場で事故に遭って死ぬ松田龍平も前作より遙かに良かった。

その次は、『茜色に焼かれる』(2021)だ。これについては、今年の夏まで、映画評を連載していたPR誌に、闘う母の物語としてエールを送った。実際、この映画の主役、尾野真千子演じる母は、7年前に夫を交通事故で亡くし、その相手が謝罪をしなかったので、賠償金の受け取りを拒否し、学校で虐めを受けている中学生の息子を育てている。そのため、彼女は、花屋でバイトし、風俗でも働いているが、いつも毅然としている。かつての社会派映画なら、こういう女性に同情を誘うような描き方をしたと思うが、石井演出は、それとまったく違って、どこか渴いたユーモアすら湛えているのだ。

ついでに言うと、風俗店の同僚で、糖尿病を患い、DVのしようもない男と暮らしている女性を演じた片山友希も良かった。そして、この映画のあとが、韓国の映画人と組んで、現地を主舞台として撮った『アジアの天使』(2021)だ。何故か、天使が、中年男なのに笑ってしまったが、そこで人種、国籍を超えた人の繋がりに進む展開に無理がなく、終わって秘かに拍手を送った。

このように、近年、次々と力作を放っている石井裕也の最新作が、辺見庸の原作に基づく『月』である。おそらく、これは、今年屈指の話題作になると思うので、乞う、ご期待!



石井裕也監督特集【タイム・テーブル】

10/14(土)	17:45 舟を編む	20:20 夜空はいつも最高密度の青色だ
15(日)	17:45 アジアの天使	20:10 茜色に焼かれる
16(月)	17:45 夜空はいつも最高密度の青色だ	19:55 舟を編む
17(火)	17:45 茜色に焼かれる	20:30 アジアの天使
18(水)	17:45 夜空はいつも最高密度の青色だ	19:55 茜色に焼かれる
19(木)	10:00 夜空はいつも最高密度の青色だ	12:10 舟を編む
20(金)	10:00 茜色に焼かれる	20:15 アジアの天使
		12:40 アジアの天使
		20:30 舟を編む

『月』公開記念 石井裕也監督特集

『舟を編む』2013年/133分/原作:三浦しをん/出演:松田龍平、宮崎あおい、オダギリジョー/日本アカデミー賞6冠/出版社の辞書編集部を舞台に、新しい辞書づくりに取り組む人々の姿を描く『映画 夜空はいつも最高密度の青色だ』2017年/108分/原作:最果タヒ/出演:石橋静河、池松壮亮、松田龍平/キネマ旬報ベストテン第1位/最果タヒの詩集をもとに、東京で宿命的に出会った男女の恋愛映画『アジアの天使』2021年/128分/出演:池松壮亮、チ・ヒソ、オダギリジョー/オール韓国ロケで撮りあげた日韓の男女の恋愛を描く『茜色に焼かれる』2021年/144分/ゼネラルプロデューサー:河村光庸/出演:尾野真千子、和田庵、永瀬正敏/キネマ旬報ベストテン第2位/女優賞他/理不尽な交通事故で夫を亡くした母子の懸命に生きる姿を熱く描いた傑作

●上映スケジュールは、やむを得ない事情により変更される場合もあります。

●上映スケジュールは、

~10/6(金) 台湾映画新発見! エンターテインメント映画の系譜

台湾巨匠傑作選2023

■この後の作品 『空山靈雨』1979年/121分/監督:キン・フー『大輪鉄』1983年/105分/

監督:キン・フー他 『山中傳奇』1979年/192分/監督:キン・フー『アーカイブ・タイム』2019年/63分/監督:ルル・エエンチー 『HWH:侯孝賢』1997年/92分/監督:オリヴィエ・アサヤス『擬音』2017年/100分/監督:ワン・ワシロー『風が踊る』1981年/92分/監督:侯孝賢『童年往事 時の流れ』1985年/138分/監督:侯孝賢『風櫃の少年』1983年/101分/監督:侯孝賢『熱帶魚』1995年/108分/監督:チェン・ユーション『ラブゴーゴー』1997年/113分/監督:チエ・クン・ジョン『童年往事 時の流れ』14:50 アーカイブ・タイム 16:10 擬音 A FOLEY ARTIST 18:10 HHH:侯孝賢 18:40 風櫃の少年』1983年/101分/監督:侯孝賢『熱帶魚』1995年/108分/監督:チエ・クン・ジョン『ラブゴーゴー』1997年/113分/監督:チエ・クン・ジョン

9/23(土) 12:25 風が踊る 14:20 童年往事 時の流れ 17:00 風櫃の少年

24(日) 12:25 アーカイブ・タイム 14:00 『自分革命映画闘争』(石井岳龍監督トークショー)

25(月) 12:10 大輪鉄 14:15 山中傳奇

26(火) 12:10 山中傳奇 15:45 空山靈雨

27(水) 12:10 風櫃の少年 14:15 擬音 A FOLEY ARTIST

28(木) 12:10 童年往事 時の流れ 14:50 アーカイブ・タイム 16:10 擬音 A FOLEY ARTIST 18:10 HHH:侯孝賢

29(金) 12:10 HHH:侯孝賢 14:00 童年往事 時の流れ 16:40 風櫃の少年 18:40 風が踊る

30(土) (超大怪獣大特撮大全集)

10/1(日) 2(月) 12:10 HHH:侯孝賢 14:05 風が踊る 16:00 童年往事 時の流れ

3(火) 12:10 热帶魚 14:20 ラブゴーゴー 16:35 擬音 A FOLEY ARTIST

4(水) 12:10 風櫃の少年 14:10 热帶魚 16:20 热帶魚

5(木) 12:10 風が踊る 14:05 ラブゴーゴー 16:20 热帶魚

6(金) 12:10 擬音 A FOLEY ARTIST 14:10 热帶魚 16:20 ラブゴーゴー

9/23(土) ~10/20(金)

★舞台あいさつ(上映後) 八十八川勝監督、他

9/23(土) (出演) 岸本ゆめかさん、中野良美さん

9/24(日) (出演) 木田麗さん、岸本ゆめかさん、池田一晴さん

2023年/日本/103分/監督:八十八川勝/脚本:堤健介 主題歌:ちひりと

出演:高原悠成、前田聖成、夏目みか、岸本ゆめか、竹中楳香、木田麗、池田一晴、中野良美

映画の完成を待たずして亡くなったり、筋ジストロフィー患者の蔭山

武史さんの自伝を映画化。逆境を受け入れつつも、友情や勇気、希望を描く感動の物語。

9/24(日) & 9/30(土) ~6(金) ★9/24(日) 石井岳龍監督トークショー開催!

自分革命映画闘争

2023年/日本/165分/監督・脚本・製作:石井岳龍

撮影・照明:VFX・編集:武田峻彦 音楽:勝本道哲 出演:神戸芸術工科大学・映画コース関係者有志

MAD教授が仕掛ける映画の迷宮——ISHII映画の到達点たる2時間

45分のインナートリップ! 映画館は現代都市にならぬ洞窟、現代都市の心の避難所! と語る石井岳龍の究極の映画館臨場体感!!

自分革命映画闘争公開記念

石井岳龍監督初期傑作選

①『狂い咲きサンダーロード』1980年/98分/山田辰夫

②『狂大バニック』1976年/17分/梅津正信

③『F/88000の孤独』1977年/45分/入戸野誠

④『シャッフル』1981年/35分/中島陽典、森達也

9/30(土) 18:00 自分革命映画闘争

10/1(日) 18:00 ②+④ 19:30 ①

2(月) 18:40 自分革命映画闘争

3(火) 18:35 自分革命映画闘争

4(水) 18:35 ②+④ 19:55 ①

5(木) 18:30 ① 20:30 ②+④

6(金) 18:35 自分革命映画闘争

10/7(土) ~20(金)

天国か、ここ?

2023年/日本/61分/監督:いまおかしんじ

出演:河屋秀俊、武田暁、平岡美保、上野伸介、佐藤宏、川瀬陽太

川島伸夫が死んだ場所で撮影したかった…。島根県出雲市。ここを天国に設定したら、俺の周りで死んだやつらがわらわら出てきた。林由美香、上野俊哉、伊藤猛、江利川深夜、鴨田好史。彼らに出会いう旅が始まる。

『天国は、ここ?』公開記念 いまおかしんじ監督特集

10/7(土) 18:00 天国か、ここ? 19:40 菩提まち

8(日) 18:00 天国か、ここ? 19:40 たまもの

9(月) 18:00 れいこいるか 20:00 天国か、ここ?

10(火) 18:00 つぐない 19:50 天国か、ここ?

11(水) 18:35 天国か、ここ? 20:00 たまもの

12(木) 18:35 天国か、ここ? 20:00 菩提まち

1995年/63分/R18/岡田智宏、奈賀愛子

~10/13(金)

福田村事件

2023年/日本/137分/監督:森達也

出演:井浦新、田中麗奈、永山瑛太、東出昌大、コムアイ、柄本明

100年前、関東大震災から5日後に起こった虐殺事件「福田村事件」。ミニシアターで異常に大ヒット!

9/23(土) ~10/6(金)

小説家の映画

ホン・サン監督作品

2022年/韓国/92分/出演:イヘヨン、キム・ミニ、ソ・ヨンファ

ホン・サン最新作は、人生の新たな可能性に向かって共に歩みだす女性たちの友愛と連帯の物語。

9/30(土) ~10/13(金) [チャン・リュル監督「福岡」三部作一挙上映]

群山

2018年/韓国/121分/監督・脚本:チャン・リュル

日本統治時代の面影が残る韓国の港町群山を

舞台にしたロードムービー。

11/4(土) ~『草原に抱かれて』2022年/中国/96分/監督:チャオ・スーシュエサンス

モンゴルの雄大な草原を舞台に、母と息子の思い出の木を探す旅を描いたロードムービー!!

10/21(土) ~『レンタル・アーマリー』2023年/監督:阪本武仁

11/11(土) ~[芦川いづみ映画祭] デビューセミナー記念「奇跡の女優 芦川いづみ」刊行記念

11/11(土) ~『アフター・ミー・トゥー』2021年/韓国/オムニバスドキュメンタリー

11/11(土) ~『はこぶね』その後~[インド大映画祭]『きのう生まれたわけじゃない』『Wakka』

『ホゾを嗜む』[名画リケスト特集第3弾][小田香監督特集][UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL3]

[脚本家 橋本忍の世界] [生誕100年 女優・高峰秀子]

★シネクラブ新会員制度 ◎年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引! 会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。

10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネクラブ合評会(毎月第2曜日開催)

● 10/8(日) am.13:00~

[場所]喫茶ケルン ※当館より1分

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

★シネヌーヴォ SNS X (Twitter)

Facebook

Instagram

シネ・ヌーヴォ

〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

シネ・ヌーヴォ

〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なん



2023年
11月
November

SCHEDULE

11/11(土)～12/1(金) デビュー70周年「奇跡の女優○芦川いづみ」刊行記念

奇跡の女優 芳川いづみ映画祭

当館でこれまで2回特集し、いずれも大好評だった日活の戦後黄金期を代表する名女優、芦川いづみ。松竹音楽舞踏学校に入学後、川島雄三監督に見いだされ、1953年川島監督の『東京マダムと大阪夫人』で映画デビュー。今年、デビュー70周年を迎えた。55年に日活に入社後は、市川崑監督『青春怪談』(55年)、川島雄三監督『風船』(56年)から巨匠・田坂具隆監督『陽のある坂道』(58年)ほか滝沢英輔監督、西河克巳監督『中平康監督らの文芸映画、松尾昭典監督『ゆがんだ月』(59年)、藏原惟繩監督『硝子のジョニー 野獸のようを見て』(62年)などのアクション映画までジャンルを問わない多彩な作品のヒロインとして数多く主演。日活を代表するスター女優となり、熱狂的な人気を得る。今年デビュー70周年を記念し、当館でもおなじみの熱烈な芦川いづみファンの倉田剛さんが『奇跡の女優、芦川いづみ』を刊行されたの機に、みたび特集上映を開催。引退以後、一切公の場に登場することがない伝説の女優であり、また開催の度に特集上映が人気を呼ぶ「奇跡」の女優。これまで上映してこなかった作品を中心とした選りすぐりの15作品、ご堪能あれ!

■芦川いづみ略歴 1935年10月6日、東京生まれ。1952年、松竹歌劇団付属松竹音楽舞踊学校に入学。翌年ファッショニショーに出演中、居合わせた川島雄三監督に認められ、川島監督の『東京マタムと大阪夫人』(1953)に月丘夢路の妹役でデビュー。1955年日活に移籍した川島監督の推薦で松竹歌劇団を退団し日活に入社。川島の他、市川崑、坂本具隆、滝沢英輔、西河克己、中平康らのヒロインとして数多く主演し、清潔で親しみのある美しさと幅広い役をこなす演技で日活を代表するスターとして人気を得る。「和製オードリー・ヘップバーン」とも呼ばれ活躍。1968年、藤田也と結婚して女優を引退。絶頂期での引退で、以後一切公の場に登場することもなく、ファンの間で神格化され、現在でも熱狂的なファンをもつ。



■上映作品 『青春怪談』1955/11/5市川団/獅子文六/山村聰、北原三枝、三橋達也 『死の十字路』1956/10/1井上梅次/江戸川乱歩/三國連太郎、新珠三千代/西河克己/川端康成/月丘夢路、左幸子、新珠三千代 『しあわせはどこに』1956/8/10西河克己/小糸のぶ/葉山良二、宍戸錠、山根春子 『誘惑』1957/9/1西河克己/川端康成/月丘夢路、左幸子、新珠三千代 『あたる坂道』1958/2/29田坂良隆/石坂洋次郎/石原裕次郎、北原三枝、川地民夫 『知と愛の出発』1958/9/10斎藤武市/川地民夫、中原早苗、白木マリ「あした晴れるが」1960/9/10中野喜蔵/菊池道/石坂洋次郎、赤木一郎 『喧嘩太郎』1960/8/8舛田利雄/源氏鶴石/石原裕次郎、中原早苗、二谷英明 『あした晴れるが』1960/9/10中野喜蔵/菊池道/石坂洋次郎、赤木一郎 『アラブの嵐』1961/9/11中平康/石原裕次郎、小高雄二、葉山良二 『気まぐれ渡世』1962/9/10西河克己/鈴木清司/石田治作、佐川ミツコ、清水まゆみ 『野獸のように見えて』1962/10/7岸原惟理/宍戸錠、アイ・ジョージ、南田洋子 『大幹部無類』1968/9/7小澤晋一/藤田五郎/渡哲也、松原智恵子、田中邦衛

■奇跡の女優 芦川いづみ映画祭【タイム・テーブル】

11/11(土)	10:00 死の十字路	12:00 陽のある坂道+トーキング	
12(日)	10:00 青春怪談	12:15 誘惑+トーキング	14:40 しあわせはどこに
13(月)	10:30 しあわせはどこに	12:05 青春怪談	14:20 死の十字路
14(火)	10:30 死の十字路	12:30 陽のある坂道	—
15(水)	10:50 陽のある坂道	14:40 しあわせはどこに	—
16(木)	10:00 陽のある坂道	14:00 青春怪談	—
17(金)	10:20 青春怪談	12:35 死の十字路	14:40 しあわせはどこに
18(土)	10:30 ゆがんだ月	—	—
19(日)	10:00 東京の人前後篇	—	—
20(月)	10:00 誘惑	11:50 ゆがんだ月	13:40 知と愛の出発
21(火)	10:00 噛唾太郎	11:50 東京の人前後篇	14:15 ゆがんだ月
22(水)	10:00 東京の人前後篇	12:30 知と愛の出発	14:20 噰唾太郎
23(木)	10:00 知と愛の出発	11:50 噰唾太郎	13:40 あした晴れるか
24(金)	10:00 噰唾太郎	11:50 誘惑	13:40 知と愛の出発
25(土)	10:00 硫子のジニー	12:10 アラブの嵐	14:00 あした晴れるか
26(日)	10:00 無鉄砲大将	11:45 気まぐれ渡世	13:35 大幹部無類
27(月)	10:00 気まぐれ渡世	11:50 アラブの嵐	13:40 硫子のジニー
28(火)	10:00 大幹部無類	12:00 あした晴れるか	13:50 アラブの嵐
29(水)	10:00 硫子のジニー	12:10 アラブの嵐	14:00 無鉄砲大将
30(木)	10:00 無鉄砲大将	11:45 大幹部無類	13:40 気まぐれ渡世
12/1(金)	10:00 気まぐれ渡世	11:50 硫子のジニー	14:00 大幹部無類
			『アラブの嵐』
			15:30 東京の人前後篇
			16:05 誘惑
			16:10 あした晴れるか
			15:30 ゆがんだ月
			15:30 無鉄砲大将
			『ゆかん』

★11/11(土)・12(日)トークショー開催 ゲスト:倉田 剛さん(『奇跡の女優○芦川いづみ』著者)

●毎月1日は映画サービスデー…1200円均一 ●水曜サービスデー…どなたも1200円均一

●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

※ 上記表由 **■** は初日 **■** は最終日の表示マーク

※ご鑑賞の1週間前から窓口とインターネットで、座席指定のチケットをお求めいただけます。招待券などは窓口からとのみとなります。

※読み込みな
場合
劇
ホームペー
ま

上野昂志の
酔余の一滴
〈續〉 vol.10

お見逸れ致しました！
芦川いづみ様

正直に申せば、わたしは、芦川いづみという女優に、さほど強い関心を持っていなかった。それには、彼女の出演作をあまり多く観ていなかったという事情もある。彼女については、清楚、清純、清潔と、清いという文字がよく似合う若い女優という印象で受け取っていたのだ。これには、わたしの、どこか癖のある、奔放で、時に法に背く行動に走るような印象を与える女優に惹かれがちだったという、わたしの好みもあるだろう。そんな傾きからすると、芦川いづみは、遠い存在だったのだ。だが、翻って考えれば、先に挙げた清いという三文字が似合う女優こそ、日本画では極めて珍れた存在なのだが

ただ、清楚、清純、清潔だけだと、無害なお人形さんのような存在を想像しがちだが、芦川いづみは、決して、そうではない。彼女には、優しいが、偏見に囚われない、毅然とした姿勢があるのだ。それは、『乳母車』(田坂具隆)で、父の愛人(新珠三千代)や、彼女が産んだ赤ん坊に接する態度を見ても明らかだろう。それに対して、『あした晴れるか』(中平康)では、カメラマンの石原裕次郎を先導して、東京を撮り歩く眼鏡とスラックス姿の芦川の活発な姿が際立つ。かと思うと、『美しい庵主さん』(西川克己)では、一転して丸坊主の尼僧を演じているのだから、彼女の芸域は広いのだ。

だが、今回、DVDで初めて観た『硝子のジヨニー 野獣のように見えて』(蔵原惟継)には瞠目した。芦川演じる娘は、北海道の漁村でアイ・ジョージの女衒に買われた貧民で、その佇まいも清楚とはほど遠い。彼女は、アイ・ジョージから逃れた車中で、たまたま助けてくれた宍戸錠と出会う。以後、競輪の予想屋である選手に夢を賭ける宍戸を、厄介者扱いされながら追う一方、アイ・ジョージに追われる。という展開の中で、彼女の無垢な純真さによって、二人の男は、それぞれが抱える夢や悩みから解放されていく。本作は、従来のイメージを超えた芦川いづみの代表作といえべき傑作である。

絶賛上映中!!

石井裕也 監督作品



2023年/日本/144分
配給:スターアンズ



監督・脚本:石井裕也
原作:北見龍之助
企画・エグゼクティブプロデューサー:河村光庸
出演:宮沢りえ、磯村勇斗、二階堂ふみら
障害者殺傷事件を題材に、石井裕也監督らスタッフ、そして宮沢りえ、オダギリジョー、磯村勇斗、二階堂ふみらが優勝が果敢に挑戦し完成した傑作。「排除」「差別」「無関心」…。日本社会に横たわる闇を鮮やかに照射し、希望に向けて挑む渾身作。ぜひ見ていただきたい今年度最大の世に問う問題作!!

10/28(土)~11/24(金) マルセル・マルソー 生誕100年
マルセル・マルソー 沈黙のアート



2022年/スイス・ドッサ/85分/ドキュメンタリー
監督:マリウツィア・ペニテル・クレードルクス
沈黙の表現がなぜ人びとを惹きつけ続けるのか?言葉を発さずに身ぶりや表情のみですべてを表現するパントマイムというアートはどのようにして生まれたのか?豊富なアーカイブ映像を織り交ぜ、「パントマイムの神様」フランスのアーティスト、マルセル・マルソーの真実とパントマイムの真髄に迫る!!

~11/11(金) ★トークショー開催! 11/3(金・祝)14:30の回『マリア・ブランの結婚』上映後、ゲスト:洪谷哲也さん(トイ映画研究・日本大学文理学部教授)

ライナー・ヴェルナー・ファスピンダー & フランソワ・オゾン



わずか37年の短い生涯で、いまなおレスペクトされてやまない魂の作家ファスピンダーの代表作と、彼を敬愛するオゾン作品を同時上映!

マリア・ブランの結婚 1978年/120分 11/3金14:30, 7火20:20, 10金19:20
ファスピンダーの名を世界に轟かせた大ブレイク作にして究極の女性映画。

不安は魂を食いつくす 1974年/93分 10/30日14:30, 11/5日20:25, 9木19:15
掃除婦の女と移民労働者の男。美しくも残酷な愛の物語を描く不朽の傑作。

天使の影 1976年/101分/監督:ダニエル・シュミット 10/31火16:50, 11/6日20:10,
ファスピンダーの戯曲を、スイスの名匠ダニエル・シュミットが映画化。 8木20:30

ペトラ・フォンカントの苦い涙 1972年/124分 10/28土・31火・11/2木14:30
女性同士の愛を描き、数々の映画賞に輝いたメロドラマの傑作。

苦い涙 2022年/85分/監督:フランソワ・オゾン シネ・ヌーヴォX・10/28土~11/3金12:45
オゾンが名作をリメイク。登場人物の性別を変え、現代風に再創造。

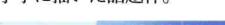
焼け石に水 2000年/90分/監督:フランソワ・オゾン 10/29日15:00, 11/1水14:30, 2木
敬愛するファスピンダーの未発表の戯曲を映画化。4人の男女の悲喜交々。 16:50

11/4(土)~ 2022海南国際映画祭最優秀芸術貢献賞受賞
草原に抱かれて



2022年/中国/96分
監督・脚本:チャオ・スーシュエ
撮影:ツヤオ・ユー
出演:バドマ、イダー
都会で暮らすミュージシャンのアルスは、認知症が進む母が求めてやまない故郷へ連れて帰ることを決意する。母と自らを太いロープで括り、オートバイで広大な内モンゴルの草原を旅するロードムービー。各国の映画祭で話題となった内モンゴル自治区出身、1990年生まれのチャオ・スーシュエ監督の長編デビュー作!

11/11(土)~24(金)
はこぶね



2022年/日本/99分
監督・脚本・編集:大西諒
出演:木村知穂、高見ことこ、外池アリ明、内田春菊、五十嵐美紀、愛田天、森海斗、範多美樹
第16回田辺・弁慶映画祭でグランプリ、観客賞、第23回 TAMA NEW WAVEでもグランプリに輝いた大西諒監督の長編デビュー作。「視覚に頼らない世界」の在り方と、一人の青年の生き方を丁寧に描いた話題作。

11/28(火)18:30 1500円均一
WAKKA



撮影監督:露口啓二
2023年/日本/40分
音楽・サウンドデザイン:大友良英
像力をかき立てる40分。上映後トーク
監督・脚本・編集:中島洋 出演:平原慎太郎、結城幸司、森永弥子 グ:小田香、木下智恵子、中島洋

絶賛上映中!! 第28回釜山国際映画祭「ニューカラーン部門」最優秀作品賞受賞



福田村事件 2023年/日本/137分
監督:森達也
出演:井浦新、田中麗奈、永山瑛太、東出昌大、コムアイ、柄本明
100年前、関東大震災から5日後に起きた虐殺事件「福田村事件」。ミニシアターで驚異の大ヒット!

~11/3(金) ★10/29(日)川上アチカ監督
舞台あいさつ
絶唱浪曲ストーリー



2023年/日本/111分
監督・撮影・編集:川上アチカ
浪曲師・港家小柳に弟子入りした新人浪曲師の成長を通して浪曲の魅力を追ったドキュメンタリー。

10/28(土)~11/10(金) あしたの少女



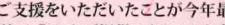
チョン・ジュリ監督作品
2022年/韓国/138分
出演:ベ・ドゥナ、キム・シウン
『私の少女』から8年、ベ・ドゥナと再タッグを組み、実際の事件を映画化したチョン・ジュリ監督最新作。

10/28(土)~11/10(金) ジーンヒシャルロット



2021年/フランス/92分
監督:シャルロット・ゲンズブル
シャルロット・ゲンズブルが初監督を務め、母ジエーン・バーキンと自らを見つめたドキュメンタリー。

12/2(土)~【名画リクエスト特集第3弾】『私の大嫌いな弟へ ブラザーアンドシスター』



12/16(土)~『ホゾを咬む』12/23(土)~【インド大映画祭】12/29(土)【小田香監督特集】

新春1/2(土)~【脚本家 橋本忍の世界】春日太一著『鬼の筆~戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折』刊行記念

1/6(土)~【香港の流れ者たち】『ディス・マジック・モーメント』2月~【高峰秀子特集】

編集後記 2023年も残り2ヶ月。ファンディングで皆さまから熱いご支援をいただいたことが今年最も大きな私たちの喜びと勇気となりましたが、映画では今年最大の成果ともいいくべき「福田村事件」と『月』をご提供できることも大きな矜持となりました。両作品とも素晴らしい成績とともに、社会の關注・タブーを越すことなく描き出した製作者の映画にかける熱き想いに共感しましました。出演者が参加するのを躊躇する中、毅然と素晴らしい演技をみせた俳優陣に拍手です! 今年最大の必見作、お見逃しなく!!

★シネクラブ新会員制度 ◎年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引/会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。

10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネクラブ合評会(毎月第2曜日開催)

●11/12(日) am.13:00~

【場所】喫茶ケルン ※当館より1分

シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

★シネ・ヌーヴォ SNS X (旧Twitter)

Facebook Instagram

10/28(土)~11/10(金) ★10/28(土)18:00「そして僕は恋をする」上映後 堀本安美さんによるオンライントーク開催!

フランス映画の現在をめぐってvol.5 映画批評月間2023

アレノー・デプレシャンとともに 映画批評月間2023

「そして僕は恋をする」

フランス映画の最新作や隠れた名作を紹介する特集の第5弾。

90年代からフランス映画を牽引してきたアレノー・デプレシャン監督の作品

9本と、映画祭などで話題の最新フランス映画5本、計14作品一挙上映!!

<アレノー・デプレシャン監督レトロスペクティブ>『二十歳の死』1991/52/マリアンヌ・ドニクール

『魂を救え!』1992年/146/エマニュエル・サンランジ『そして僕は恋をする』1996/180/マチュー・アマリック『エスター・カーンめざめの時』2000/148/サマー・フェニックス『キン

グス&クーン』2004/153/エマニュエル・ドゥヴァオ『愛されたひとと』2007/66/ドキュメンタリー『クリスマス・ストーリー』2008/150/カトリーヌ・ドヌーヴ『ジミーとジョルジ・心の欠片を探して』2013/117/ベニチオ・デル・トロ『いつわり』2021/103/アレ・セドウ <批評家たちオススメの最新フランス映画>『揺れるとき』2021/93/サミュエル・セイス/アリオシャ・ライナート『フルタイム』

2022/87/エリック・グラヴェル・ルクレ・ド・ルクル

カラミー『ノイゼット』2022/100/ルイ・ガレル・ロシュディ・ゼム『パリ

18区 グット・ドール街』2021/103/ケレモン・コジール・カリム・ルクル

『パリの記憶』2022/105/アリス・ヴィンケル/ヴィルジニー・エフィラ

『クリスマス・ストーリー』2021/106/カトリーヌ・ドヌーヴ『ジミーとジョルジ・心の欠片を探して』2013/117/ベニチオ・デル・トロ『いつわり』2021/103/アレ・セドウ <批評家たちオススメの最新フランス映画>『揺れるとき』2021/93/



2023年
12月
December

SCHEDULE

シネ・ヌーヴォ シネ・ヌーヴォ×

12/2(土)～29(金) シネ・ヌーヴォ20周年プロジェクト シネ・ヌーヴォ 名画発掘シリーズ リクエスト特集 vol.3 *final*

2017年のシネ・ヌーヴォ開館20周年にあたり行ったクラウドファンディング「20thプロジェクト」。そのコレクターになつていただいた皆様から特典として映画選択権をご取得いただきました。その選択権から2018年の第一回では17作品、2019年の第二回では22作品の作品を上映してまいりました。開催の度に新しい映画の発見があったと大変好評でしたが、第三回を予定していた2020年は、コロナ禍により延期を余儀なくされました。この度、その第三回として、またファイナルとして最後のリクエスト特集35作品を一挙上映いたします。

清水宏、石田民三、マキノ雅弘、成瀬巳喜男、五所平之助、千葉泰樹、吉村公三郎、小沢茂弘、本多猪四郎、西村昭五郎、中平康、加藤泰、根岸吉太郎、高嶺剛、岩井俊二、橋口亮輔、そして青山真治まで多彩で多様、時代とジャンルを超えた監督たちの夢の競演！さらに外国映画まで網羅した映画ファンが選んだ「観たい映画」「スクリーンに掛けたい映画」珠玉の35作品。大変お待たせしました！2023年の締め括りに、ご一緒にどうぞお楽しみください！！



四



1

●毎月1日は映画サービスデー…1200円均一(1月は2日) ●水曜サービスデー…どなたも1200円均一

●毎月1日は映画リーピスティー! 1200円均一(1月は2日) ●水曜
●毎週月曜日はペアサービスデー! お二人で2400円(祝祭日は除く)

※上記表中■は初日、▲は最終日の表示マーク

A standard black and white QR code located at the bottom right of the page, which likely links to more information about the event or ticketing.

上野昂志の
醉余の一滴
〈続〉vol.11

師走の風に吹かれて

シネ・ヌーヴォ、1年の終わりは、「リクエスト特集」ですか。いいですね！自分が見たい映画を観ながら、新しい年を迎えるなんて、映画ファンとしては極上の過ごし方じゃないですか。大阪の人気が羨ましい。東京じゃ、そんな粹な企画を組む映画館なんてありやしない。挙げられたラインナップを一瞥すると、半分以上は、わたしも観た作品が並んでいるが、未見という以上に、その名前も知らなかった映画があるのに、ビックリ。『アマゾン無宿 世紀の大魔王』なんて、どこから出てきたんだ、と思ってしまう。調べてみると、あの小沢茂弘監督の1961年公開の映画なんですね。

片岡千恵蔵と進藤英太郎が出てるらしいが、アマゾン無宿の大魔王って、どっちだ?と俄然、興味が湧く。これを選んだ方は、相当な映画マニアかと思われるが、好みが渋いですね。わたしなどは、小沢監督といえば、やくざ映画全盛期の『関東流れ者』に始まる関東シリーズとか、『博打打ち』シリーズで親しんだ監督なんですがね。もっとも、小沢監督は、会社の要請に、何でも来いの腕達者で鳴らした方ですが、『裏切者は地獄だぜ』も、そうですね。で、この特集で、お前が観たいのは何かと問われれば、加藤泰監督の『骨までしゃぶる』です。郭の中で奪闘する桜町引子をまた観たい!

桜町弘子が、加藤泰作品に出演するのは、『風の武士』(1964)が最初だったろうか？だが、いまも脳裏に鮮やかに浮かぶのは、『車夫遊侠伝 喧嘩辰』(同年)だ。彼女は気の強い芸者で、内田良平の辰の車に乗って喧嘩になり、川に放り込まれる。その姿に辰が惚れる。また『懲役十八年』(67)では、刑務所に送られる男を見送るときの、悲嘆を全身で表す彼女を忘れない。そして『炎のごとく』(81)では、出場は少ないながら、幕末の動乱の中、男に扮して闘いの場に赴く桜町弘子。加藤泰作品における彼女は、男どもの争いのなかでも挫けぬ、一輪の花のように匂い立つ。

12/2(土)～8(金)

シェアの法則

2023年／日本／106分
監督：久万真路 脚本：岩瀬顕子

出演：小野武彦、貫地谷しほり、浅香航大、鶴尾真知子、宮崎美子、岩瀬顕子、大塚ヒロタ
シェアハウスを経営する老夫婦が、様々な背景をもつ住人たちとの関わりを描いた劇団青年座の人気舞台の映画化。名脇役として活躍してきた小野武彦が、俳優生活57年目にして初の映画主演を務めた話題作。

12/16(土)～

★12/16(土)舞台あいさつ：高橋栄一監督

ホゾを咬む

2023年／日本／108分
監督・脚本・編集：高橋栄一

出演：ミネオショウ、小沢まゆ、木村知貴、河屋秀俊、福永輝、ミサ、リサ、I.P.U.、菅玲
映像作家・高橋栄一が、ASD（自閉症スペクトラム症）のグレーゾーンと診断された自身の経験に着想を得て手がけた長編作品。モノクロームの世界観が怪しさと品格を放ち、独特な間合いや台詞が観る者を異世界へと誘う。

12/23(土)～1/5(金)

インド大映画祭 IDE 2023-2024

IDEインド大映画祭、第4弾開催！インド映画同好会が選んだ8作品。年内最後はマサラ上映！

■上映作品『ジャイ・ビーム』2021年/157分/スリーリヤ/窃盗犯見なされ逮捕された男の裁判劇『囚われし者 ボーラー』2023年/143分/アジャイ・デーヴガル/10年ぶりに出所した男がさらに過酷な事件に巻き込まれ…『サーカス』2022年/135分/ランヴィル・シン/孤児の双子が別々のサーカスで養子にされ出…『ラストファーマー』2021年/145分/ヴィンセント・セードゥバティ/開拓企画予定地の老農夫が滌れ衣を着せられ逮捕され…『ガルギ 正義の女神』2022年/133分/サイ・バラヴィ/教師ガルギは父親の逮捕事件の容疑を晴らそうとする…『スルターン』2021年/150分/カールティク・アフィアの一人息子の悲劇苦悶、歌・踊り満載!『ヴィクラムとウェーダー』2017年/140分/R/マー・ダヴァン/きっとうまくいく?のR・マー・ダヴァン主演の犯罪ドラマ『火花-theri』2016年/151分/ヴィジャイ/過去を隠し男が移転してきたが…

12/23(土)	14:05 ジャイ・ビーム	17:05 ラストファーマー	19:50 サーカス
24(日)	14:25 ガルギ 正義の女神	17:00 囚われし者 ボーラー	19:45 グリカラとヴェーダー
25(月)	19:20 スルターン	—	—
26(火)	14:00 囚われし者 ボーラー	16:40 サーカス	—
27(水)	11:50 ジャイ・ビーム	14:45 火花-Their	—
28(木)	19:35 ラストファーマー	—	—
29(金)	12:10 火花-Their	—	—
30(土)	10:00 ガルギ 正義の女神	12:35 ヴィクラムとヴェーダー	15:15 スルターン(マサラ)
1/2(火)	19:00 ジャイ・ビーム	—	—
3(水)	19:00 囚われし者 ボーラー	—	—
4(木)	19:00 サーカス	—	—
5(金)	19:00 ラストファーマー	—	—

～12/22(金)

石井裕也 監督作品



出演：宮沢りえ、磯村勇斗、二階堂ふみ、オダギリジョー、鶴見辰吾、高畑充希

障害者殺傷事件を題材に、石井裕也監督らスタッフ、そして宮沢りえ、オダギリジョー、磯村勇斗、二階堂ふみら俳優陣が果敢に挑戦し完成した傑作。各種映画賞に輝く今年度最大の問題作!!

11/25(土)～12/22(金)

イ・チャンドン レトロスペクティヴ

韓国映画の巨匠イ・チャンドン監督作品6本と、彼の制作の原点に迫る新作ドキュメンタリー映画の計7本を週替わりで一挙上映!

上映作品

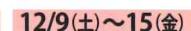
『イ・チャンドン アイロニーの芸術』2022年/99分/監督：アラン・マザール ※12/1
イ・チャンドンが制作の原点と人生を語るドキュメンタリー。名優たちも出演。(金)まで
『バーニング 劇場版』2018年/148分/原作：村上春樹/出演：ユ・アイン、スティーヴン・ユアン
彼女は一体、なぜ消えたのか？村上春樹の小説を原作とした極上ミステリー!
『ポエトリー アグネスの詩』2010年/139分/出演：ユン・ジョンヒ、イ・デヴィッド ①
詩作教室に通う初老の女性。詩を綴ることで、彼女が見つけた人生の光と影、美しさとは—?
『シックレット・サンシャイン』2007年/142分/出演：チョン・ドヨン、ソン・ガヌホ ②
悲しみの底から抜け出そうとする女性の葛藤を描く傑作。カンヌ国際映画祭女優賞
『オアシス』2002年/133分/出演：ソル・ギヨング、ムン・ソリ、アン・ネサン ③
世の中から疎外された二人が知った「はじめての愛」の物語。ヴェネチア映画祭監督賞
『ペバーミント・キャンディー』1999年/130分/出演：ソル・ギヨング、ムン・ソリ ④
活動の韓国現代史を背景に、ある男の20年の記憶を辿る時間旅行。
『グリーンフィッシュ』1997年/111分/出演：ハン・ソックキム、ムン・ソングン ⑤
監督デビュー作品。アウトサイダーの男女3人が織りなす喪失と希望の物語。



12/15(金)19:40 (先行特別上映)+トーク 伝説のレーベル「トロージャン・レコード」の栄光と転落を描くドキュメンタリー!
ルードボイ トロージャン・レコードの物語 2018年/イギリス/85分 監督：ニコラス・ジャック・ティビーズ

12/2(土)～15(金)

私の大嫌いな弟へ ブラザー&シスター

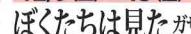


2022年／フランス／110分 監督・脚本：アルノー・デプレシャン

最高の「きょうだい」ゲン
力。物語は予想もつかない「憎しみの出口」へ。マ
リオン・コティヤール主演。



12/9(土)～15(金) 売り上げ全額寄付



2011年／日本／86分 監督・撮影：古居みずえ

パレスチナ・ガザ地区に
繰り返されるイスラエルの
虐殺。ガザで撮った古居
みずえ作品を緊急上映。



12/23(土)～『白鍵と黒鍵の間に』 12/30(土)～『燃えあがる女性記者たち』

『栗の森のものがたり』 1/6(土)～『香港の流れ者たち』『ディス・マジック・モーメント』

1/13(土)～[UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL]

1/20(土)～『きのう生まれたわけじゃない』『彼方のうた』 2/3(土)～[高峰秀子特集]

編集後記 今年のファンディングに踏み出す際に躊躇していたこと、それは2016年末のクラウドファンディングでお約束したり
クリエスト特集が残っていたことでした。最後の特集を行う予定が2020年のコロナで延期され、またコロナ禍で存続の危機とも重なり
延び延びとなっていました。今回、2023年の年末に無事開催できる運びとなり、私たちもホッとしております。本当に待たせ
ました。それでも私たちでは一括りにまとめるのできないあまりに多彩な映画群! 改めて皆さまの鑑賞力を脱帽です。

★シネクラブ新会員制度 ○年会費2000円(2023年1月より改定)

特典 1.ご招待券1枚プレゼント! 2.当日入場料金の割引／会員は1100円(同伴者1名も有効) 3.ポイントカードの発行。
10ポイントで招待券(毎週火曜日はWポイントデー) 4.一部提携劇場の割引、その他

シネクラブ合評会(毎月第2曜日開催)

●12/10(日) am.13:00～

【場所】喫茶ケルン ※当館より1分

★シネ・ヌーヴォ SNS X (Twitter)



シネ・ヌーヴォ 〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24 Tel.06-6582-1416 Fax.06-6582-1420 大阪メトロ中央線・阪神なんば線「九条駅」徒歩3分

■シネ・ヌーヴォ名画発掘シリーズ リクエスト特集vol.3 【タイム・テーブル】

12/2(土)	10:00 花つみ日記	11:35 恋文	13:35 浮雲	16:00 未成年	18:10 悪の報酬
3(日)	10:00 挽歌	12:30 挽歌と女	14:00 大佛さまと供たち	16:00 電話は夕方に鳴る	18:10 マタンゴ
4(月)	9:50 電話は夕方に鳴る	11:55 挽歌	14:20 挽歌と女	15:45 恋文	17:40 浮雲
5(火)	10:20 恋文	12:20 未成年	14:25 花つみ日記	16:00 挽歌	18:30 挽歌と女
6(水)	11:00 挽歌と女	12:30 電話は夕方に鳴る	14:40 マタンゴ	16:35 悪の報酬	18:25 花つみ日記
7(木)	10:30 花つみ日記	12:05 悪の報酬	13:55 電話は夕方に鳴る	16:05 マタンゴ	17:55 未成年
8(金)	10:00 マタンゴ	11:50 恋文	13:45 未成年	14:55 浮雲	18:15 悪の報酬
9(土)	10:00 スキナーズ	12:05 横たわる子供たち	14:10 アマゾン無宿	16:00 創劇都地獄	17:50 最後の審判
10(日)	10:00 骨でしゃぶる	11:50 下町ガムシャラ	13:10 花様年華	15:10 TOCHIKA	17:05 ドンバス
11(月)	10:00 浮雲	12:25 アマゾン無宿	14:10 創劇都地獄	16:00 スキナーズ	19:30 空に住む
12(火)	10:20 最後の審判	11:55 骨でしゃぶる	13:45 空に住む	16:05 アマゾン無宿	17:50 創劇都地獄
13(水)	10:00 アマゾン無宿	11:45 創劇都地獄	13:35 最後の審判	15:30 脚本	19:40 TOCHIKA
14(木)	10:00 骨でしゃぶる	11:50 TOCHIKA	13:45 ドンバス	16:05 花様年華	18:05 空に住む
15(金)	9:30 花様年華	11:25 空に住む	13:45 スキナーズ	15:45 ドンバス	18:05 脚本



年末、監督たちの大競演!!

12/25(月) 『恋するミナミ』から10年、今年もクリスマスに1日限りの特別上映!

リム・カーワイ監督“大阪三部作”一挙上映



『新世界の夜明け』12:20 2011年/93分/出演：史可 ★リム・カーワイ監督舞台あいさつ

クリスマスに憧れ中国から来た女性。辿り着いたのは雑多な繁華街の大阪・新世界!?

『Fly Me to Minami 恋するミナミ』14:15 2013年/106分/出演：小橋賢児

言葉・国籍を超えた、二つの異なるラブストーリーは運命の恋劇で大阪・ミナミで交差する…。

『カム・アンド・ゴー』16:20 2020年/158分/出演：リーカ・ジョンソン・千原せいじ

ミナミから一転、「キタ」と呼ばれる大阪の繁華街で生きるアジア人たちを描く群像劇



12/26(火)・27(水) 最新作『GAMA』など、年末恒例 小田香作品集。

小田香作品集

★小田香監督舞台あいさつ

12/26(火) 19:15 2021年/64分

青森県の福祉作業所兼ゲストハウス「colere-ON(これーおん)」の日常をみつめた記録映画

『ホモ・モビリタス』12/26(火) 19:15 2022年/12分

青森県南部を走る青い森鉄道をはじめ、県内の車窓風景を撮影。「美術館の堆肥化計画」参加

『鉱 ARAGAN』12/26(火) 20:50 2015年/68分/監修：タル・ベーラ

サラエボ近郊の炭鉱を記録した世界中の映像祭で衝撃を持って迎られた代表作

『ゼノーテ』12/27(水) 17:40 2019年/75分 第1回大島渚賞受賞作

メキシコ・ユカタん半島洞窟内にある泉ゼノーテの神秘を追ったドキュメンタリー

『GAMA』12/27(水) 19:30 2023年/53分

沖縄戦で多くの住民が命を落とした自然洞窟「ガマ」で、過去と現在が交差する



12/28(水) 映画監督・ミュージシャン 甫木元空スペシャルイベント!

甫木元空 トーク&ミニライブ

★甫木元空監督舞台あいさつ

12/26(火) 19:15～20:00(上映後)

『これるおん』27 sep - 5 oct 12/26(火) 19:15～20:00(上映後)

青森の福祉作業所兼ゲストハウス「colere-ON(これーおん)」の日常をみつめた記録映画

『ホモ・モビリタス』12/26(火) 19:15 2022年/12分

青森県南部を走る青い森鉄道をはじめ、県内の車窓風景を撮影。「美術館の堆肥化計画」参加

『鉱 ARAGAN』12/26(火) 20:50 2015年/68分/監修：タル・ベーラ

サラエボ近郊の炭鉱を記録した世界中の映像祭で衝撃を持って迎られた代表作

『ゼノーテ』12/27(水) 17:40 2019年/75分 第1回大島渚賞受賞作

メキシコ・ユカタん半島洞窟内にある泉ゼノーテの神秘を追ったドキュメンタリー

『GAMA』12/27(水) 19:30 2023年/53分

沖縄戦で多くの住民が命を落とした自然洞窟「ガマ」で、過去と現在が交差する



12/29(金) 濱口竜介監督来館。年末恒例『ハッピーアワー』大会!

『ハッピーアワー』三部作一挙上映!!

2015年/日本/317分(一部106分、二部96分、三部115分) 監督・脚本：濱口竜介

出演：田中幸恵、菊池葉月、三原麻衣子、川村りあ、三浦博之、申芳大、謝花英夫、柴田修兵

年末恒例『ハッピーアワー』大会。濱口竜介監督が神戸を舞台に描く三部

作を一挙上映! ロカル・国際映画祭最優秀女優賞、脚本スペシャル・メンション受賞作。2023年ベ

ネチア国際映画祭銀獅子賞「悪は存在しない」の来春公開が待たれる濱口監督の傑作大長編!!

12/29(金) 一部15:05/二部17:10/三部19:05 ★12/29(金) 三部上映後、濱口竜介監督舞台あいさつ

『新春1/2(火・祝)～2/9(金)春日太一著『鬼の筆戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折』出版記念

生誕105年 没後5年 橋本忍映画祭2024



予告

上映作品 1/7本 『平手造酒』1951年『初姿五松格子』1954年『夜の鼓』1958年『奴が殺人者だ』1958年『觸雲』1958年『七つの彈丸』1959年『ハワイミッドウェイ大空戦』太平洋の嵐 1960年『切腹』1962年『悪の紋章』1964年『侍』1965年『霧の旗』1965年『大菩薩峠』1966年

『風林火山』1969年『砂の器』1974年『八甲田山』1977年『幻の湖』1982年『愛の陽炎』1986年

『風林火山』1969年『砂の器』1974年『八甲田山』1977年『幻の湖』1982年『愛の陽炎』1986年

予告

至神戸 阪神本線

阪神なんば線

JR環状線

地下鉄

阪神なんば線

阪神なん